hp psc 2550 photosmart all-in-one

ネットワークのセットアップガイド

hp psc 2550 photosmart all-in-one

この製品は米国 4,558,302 特許権を取った LZW インプリメンテーションを含んでいる Adobe の PDF 技術を組み込んでいます。

Adobe および Acrobat のロゴは、米国やその他の国 / 地域における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

部分的著作権 © は 1989-2003 Palomar Software Inc. に属します。HP PSC 2550 は Palomar Software, Inc.(www.palomar.com) から許可されたプリンタ ドライバ技術を含んでいます。

Copyright © 1999-2003 Apple Computer, Inc.

Apple、Apple のロゴ、Mac、Mac のロゴ、Macintosh、および Mac OS は、米国およびその他の国 / 地域で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

出版番号 : Q3093-90181

初版 : 2003 年 7 月

アメリカ、ドイツ、シンガポールまたはマレーシアで印刷

Windows®、Windows NT®、Windows ME®、Windows XP®、および Windows 2000® は米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Intel® および Pentium® は、Intel Corporation の登録商標です。

注意

本書に記載されている内容は事前の通知なしに変更されることがあり、Hewlett-Packard Company がその内容を保証するものではありません。

Hewlett-Packard は本書の内容に瑕疵があった場合でもそれについて責任を負いません。また、特定目的のための市場商品力および適合性に関する暗黙の保証を含め、ただしこれに限らず、本製品の内容に関する明示的あるいは暗黙の保証もいたしません。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注意 : 規制情報は本ガイドの「技術情報」という章に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書 :
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙 :
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズ チェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告！ 発火や感電を防止するために、本製品を雨やその他の水分にさらさないよう注意してください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告！ 感電の危険性があります

1. セットアップ ポスタに記述されている指示すべてをお読みの上、内容を理解するようにしてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. だれかが電源コードを踏みつけたりつまずいたりすることのない、また電源コードが損傷することのない、安全な場所に本製品を設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンラインヘルプのトラブルシューティングの項を参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。

目次

本書の内容

本書は次の内容で構成されています。

- 有線ネットワークとワイヤレス ネットワークのセットアップに関する基本情報。
- HP PSC を PC または Mac 環境に設置する場合の詳細な手順。

  注意： HP PSC を USB ケーブルでお使いのコンピュータに直接接続したい場合はリファレンス ガイドのセットアップ情報を参照してください。

本書は次の章で構成されています。

1 有線ネットワークの基本

このセクションでは、有線ネットワークをセットアップするときの基礎について説明します。HP PSC を有線ネットワークに設置する場合の具体的な方法については、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」を参照してください。

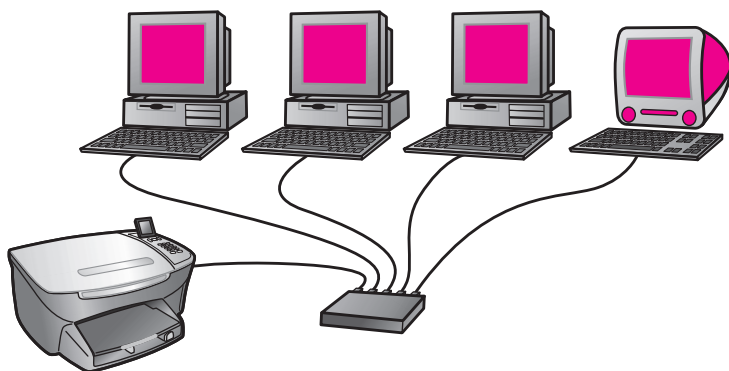
ワイヤレス ネットワークをセットアップする場合は、7 ページの 「ワイヤレス ネットワークの基本」と 41 ページの 「HP PSC のワイヤレス ネットワークへの設置」を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

概要

ネットワークを使用すると、コンピュータどうしで情報をやりとりすることが可能になります。有線 (Ethernet) ネットワークは、最も一般的なローカルエリア ネットワーク (LAN) です。LAN は、2 台以上のコンピュータ、プリンタ、他の機器を Ethernet ケーブルで接続しただけのものです。

コンピュータと HP PSC を Ethernet ケーブルでネットワークに接続するには、それぞれの機器に Ethernet アダプタ (ネットワーク インタフェース カード - NIC とも呼ばれる) が必要になります。HP PSC 2550 は、内蔵された Ethernet アダプタを使用します。このアダプタは、10 Mbps と 100 Mbps のどちらの Ethernet ネットワークにも対応しています。NIC を購入しようとする場合やすでに購入されている場合は、どちらの速度にも対応していることを確認してください。

次の図は、Ethernet ネットワークの例です。数台のコンピュータと HP PSC は、ハブ、スイッチ、またはルータで互いに接続されています。

ハブ、スイッチ、およびルータ

有線 (つまり Ethernet) ネットワークは、CAT-5 (Ethernet) ケーブルで接続します。ケーブルの一方の端を各コンピュータと NIC で接続し、各ケーブルのもう一方の端をハブ、スイッチ、またはルータに接続します。

ハブ

ハブは、各コンピュータから信号を受け取り、ハブに接続されている他のすべてのコンピュータにその信号を送信します。ただし、ハブは受動的な機器です。ネットワーク上の他の機器は、互いに通信するためにハブに接続されます。ハブは、ネットワークを管理しません。

スイッチ

一方、スイッチを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上で情報を同時に送信することができ、お互いの速度が低下することもありません。ネットワークのさまざまなノード (ネットワーク接続ポイント、通常はコンピュータ) が、互いに直接通信できます。

しかし、スイッチだけで構成されているネットワークはあまりありません。すべてのハブをスイッチに置き換えるにはコストがかかるためです。このため、スイッチとハブを組み合わせることで、コスト パフォーマンスに優れ、かつ効率的なネットワークがつくられます。

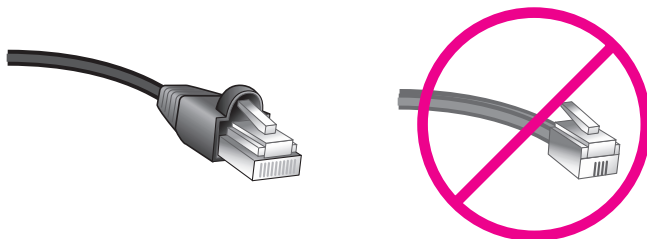
ルータ

ルータを使用すると、異なるネットワークが互いに通信可能になります。ルータを導入すると、ネットワークをインターネットに接続できるばかりでなく、2 つのネットワークをリンクして両方をインターネットに接続することができます。また、ファイアウォールを使用し、動的アドレスの割り当てを行うことで、ネットワークの安全性を高めることができます。ルータはゲートウェイの働きもします。ハブやスイッチには、こうした機能はありません。

ゲートウェイには、ルータか Internet Connection Sharing (ICS) が稼働している Windows コンピュータを使用できます。ICS の詳細については、お使いの Windows コンピュータに付属しているマニュアルを参照してください。

> **注意：** ネットワーク上の個々のハードウェアに関する情報については、製造元のマニュアル (印刷版かオンライン版) を参照してください。

ケーブル

HP PSC と Ethernet ネットワークとの接続には、シールドされていない CAT-5 Ethernet ケーブルを使用します。CAT-5 Ethernet ケーブルは、ストレート ケーブルとも呼ばれます。コンピュータ、ブロードバンド モデム、および HP PSC は、ストレート ケーブルでルータかハブに接続しなければなりません。ストレート ケーブルは、RJ-45 プラグを使用します。

RJ-45 プラグ

標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが、互換性はありません。Ethernet ケーブルのコネクタの方が端は広く、厚みがあります。また、コネクタには 4 本ではなく 8 本のワイヤがつながっています。

> **注意！** HP PSC を電話コードで Ethernet ネットワークに接続しないでください。電話コードで接続すると本機が破損してしまいます。また、HP PSC の Ethernet ポートを電話ジャックに接続しないでください。

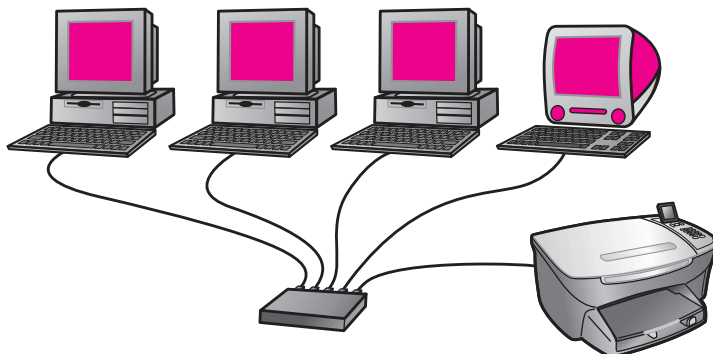
インターネットの接続

Ethernet ネットワークは、インターネットに接続する場合と接続しない場合があります。HP PSC をインターネット接続の Ethernet ネットワークに配置する場合は、HP PSC の IP アドレスが DHCP で動的に割り当てられるようにするため、ゲートウェイを使用することをお勧めします。ゲートウェイには、ルータか Internet Connection Sharing (ICS) が稼働している Windows コンピュータを使用できます。

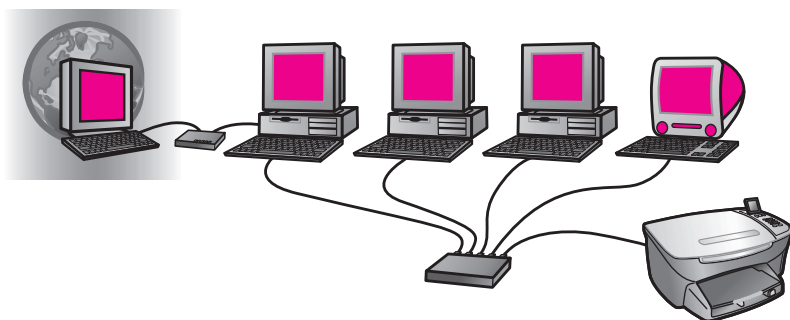
推奨されるネットワーク構成

HP PSC を使用するには、次に示す Ethernet ネットワーク構成をお勧めします。

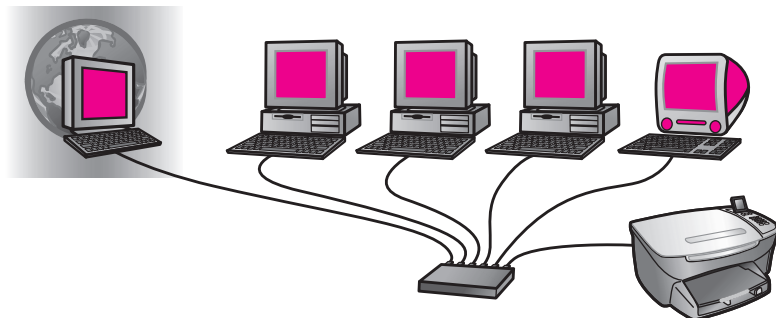
インターネットへの接続を持たない Ethernet ネットワーク

この例では、ネットワーク機器がハブに接続され、またインターネットへは接続されていません。機器は、AutoIP を使用して IP アドレスを取得します。この構成を使用する場合は HP PSC を Ethernet ケーブルでハブに接続し、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」に進みます。

注意： HP PSC 2550 は、そのままインターネットに接続できる機器です。画像を所定の送り先に送信するなどの特殊な機能があり、これはブロードバンドインターネット接続でだけ行えます。

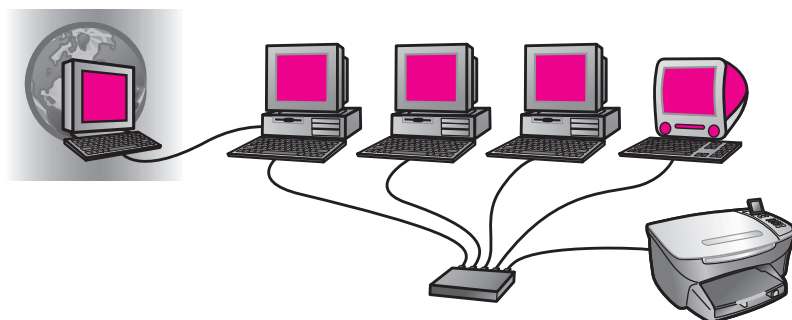
モデムでインターネットにアクセスする Ethernet ネットワーク

次の例でネットワーク機器はハブに接続され、1 台のモデムを使って 1 台のコンピュータだけがインターネットにアクセスできるようになっています。モデムは、電話コードとジャックを使用してコンピュータに接続されています。ネットワーク上の HP PSC や他のコンピュータは、インターネットにアクセスできません。上の注意を参照してください。

この構成を使用する場合は HP PSC を Ethernet ケーブルでハブに接続し、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」に進みます。

DSL かケーブルでインターネットに接続し、ルータをゲートウェイとして使用する

次の例では、ルータがネットワーク接続を監視するとともに、ネットワークとインターネット間のゲートウェイとして機能します。この構成を使用する場合は HP PSC を Ethernet ケーブルでルータに接続し、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」に進みます。

この構成では、HP Instant Share を使用してインターネット上で写真を共有するなど、HP PSC のすべての機能を利用できます。

DSL かケーブルでインターネットに接続し、コンピュータをゲートウェイとして使用する

この例では、ネットワーク機器はハブに接続されます。ネットワーク上の 1 台のコンピュータが、ネットワークとインターネット間のゲートウェイとなります。このゲートウェイ コンピュータは、Windows Internet Connection Sharing (ICS) か類似のソフトウェアを使ってネットワーク接続を管理し、また他の機器がインターネットにアクセスできるようにします。

注意： ゲートウェイの働きをしているコンピュータの電源がオフになると、ネットワーク上の他のコンピュータはインターネットに接続できなくなります。また、HP PSC のインターネットに関連する機能も利用できなくなります。

この構成を使用する場合は HP PSC を Ethernet ケーブルでハブに接続し、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」に進みます。

2 ワイヤレス ネットワークの基本

このセクションでは、ワイヤレス ネットワークをセットアップするときの基礎について説明します。HP PSC をワイヤレス ネットワークに接続する場合の具体的な方法については、41 ページの 「HP PSC のワイヤレス ネットワークへの設置」を参照してください。

Ethernet (有線) ネットワークを設定する場合は、1 ページの 「有線ネットワークの基本」と 41 ページの 「HP PSC のワイヤレス ネットワークへの設置」を参照してください。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

概要

HP PSC 2550 (HP PSC) には、有線とワイヤレスのどちらでも接続できるネットワーク コンポーネントが内蔵されています。このコンポーネントは、無線でデータを送る IEEE 802.11b というワイヤレス プロトコルを使用します。このため、ネットワーク上のコンピュータや機器の接続にケーブルは必要ありません。

> **注意：** HP PSC 2550 は、802.11g に準拠する機器との互換性を持っています。

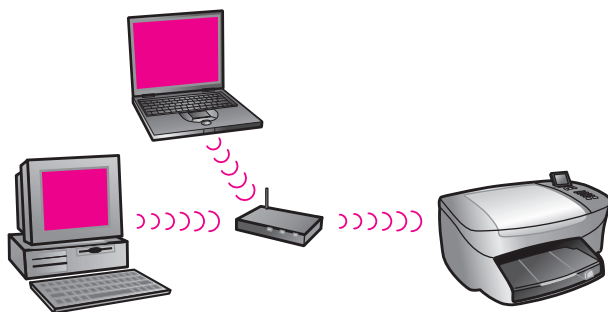
ワイヤレス LAN (WLAN) は、2 台以上のコンピュータやプリンタ、その他の機器を無線で接続されているだけのものです。WLAN では、あるポイントから別のポイントへの通信に高周波の無線を使用します。

コンピュータや機器をワイヤレス ネットワークに接続するには、コンピュータや機器にワイヤレス ネットワーク アダプタが搭載されていることが必要です。HP PSC は、ワイヤレス ネットワーク アダプタと無線通信機能が組み込まれた内部ネットワーク コンポーネントを使用します。ネットワークに接続された機器がワイヤレス技術を使用している場合は、機器間をケーブルで接続する必要はありませんが、HP PSC のセットアップと設定ではケーブルを使用することをお勧めします。

通信モード

通信モードは、コンピュータやプリンタなどの機器がワイヤレス ネットワーク上でどのように通信するかを定義します。ワイヤレス通信モードには、基本的に次の 2 種が存在します。

- **インフラストラクチャ (アクセス ポイント):**HP PSC は、ワイヤレス アクセス ポイントか無線通信局経由でネットワーク コンピュータと通信します。アクセス ポイントは、ワイヤレス機器や有線機器 (オプション) を接続する中央ハブやゲートウェイの役割を果たします。(大半のアクセス ポイントには、既存の有線 Ethernet ネットワークに接続するための Ethernet コントローラが内蔵されています。)

  インフラストラクチャ モードでは、ネットワーク機器間のワイヤレス通信はすべてアクセス ポイントを経て行われます。それぞれのワイヤレス ネットワーク機器には、アクセス ポイントへの接続を行うワイヤレス ネットワーク アダプタが組み込まれています。

注意： HP PSC を、アクセス ポイント機能を持つワイヤレス常駐ゲートウェイを経て接続する場合は、インフラストラクチャ モードを選択します。

- **アドホック (ピア ツー ピア)** : アクセス ポイントや無線基地局を経由せず、コンピュータと直接通信するモードです。それぞれのワイヤレス機器の電源がオンになっていること、アドホック ネットワークにワイヤレス ネットワーク アダプタが搭載されていることが必要です。アダプタによって、それぞれの機器はネットワーク上の他の機器と通信が可能になります。詳しくは、71 ページの 「用語集」を参照してください。

  アドホック モードは、通常は単純で小規模なワイヤレス ネットワークに限られます。これは、6 台以上のネットワーク機器を接続すると、性能が大幅に低下するためです。

  この方法は、インターネット接続を共有しなくてもよい場合や、接続するのが 2 台のネットワーク機器だけの場合にお奨めするモードです。アドホック モードでは、Internet Connection Sharing (ICS) が有効になった Windows コンピュータに接続することで、インターネットにアクセスできます。

PC 所有者がワイヤレス ネットワークをセットアップしている場合は、アドホック モードで動作する 802.11b/Wi-Fi (Wireless-Fidelity) 互換の PC カードが必要になります。ネットワークがインフラストラクチャ モードにセットアップされている場合は、802.11b ワイヤレス トランシーバが必要になります。トランシーバが内蔵されたワイヤレス ネットワーク アダプタとしては、PCMCIA カードがあります。また一部のメーカーは、アダプタだけでなく、PCI や ISA 形式のカードを提供しています。

お使いのコンピュータが Macintosh の場合は、802.11b/Wi-Fi 互換のネットワークをセットアップするのが簡単です。Apple は、AirMac という名の設定が簡単なアクセス ポイントを販売しています。AirMac は Macintosh に接続しなければなりませんが、任意の 802.11b 互換ワイヤレス ネットワークカード (PC か Macintosh のいずれに搭載されているかに関係なく) からの信号を受信できます。

注意： Wi-Fi とワイヤレス ネットワーク アダプタの詳細については、71 ページの 「用語集」を参照してください。

セキュリティ

他のネットワークと同様に、WLAN のセキュリティではアクセス制御とプライバシーに重点が置かれます。従来の WLAN セキュリティでは、サービス設定 ID (SSID)、公開キーや共有キーによる認証、静的 WEP キー、オプションの媒体アクセス制御 (MAC) による認証などを使用していました。- これらを組み合わせることで、基本的レベルのアクセス制御とプライバシー保護が可能になります。

WPA、事前共有キーなどのさらに進歩したレベルのセキュリティは、HP PSC の埋め込み Web サーバ (EWS) を経ると利用できます。EWS の詳細については、54 ページの 「埋め込み Web サーバの使用」を参照してください。

注意： セットアップの前に、ワイヤレス セキュリティ スキーム (WEP か WPA のいずれか) を導入することを強くお勧めします。また、コンピュータ ウイルスから保護するためのウイルス対策プログラムを使用するとともに、強力なパスワードを設定することや、不明な添付ファイ

ルを開かないことなど、基本的なセキュリティ上の規則を守ってください。ファイアウォール、侵入検知システム、ネットワークのセグメント化など、その他ネットワーク コンポーネントもネットワーク設計の一環として検討してください。

認証と暗号化は、どちらもネットワーク セキュリティを確保するための方法です。認証ではユーザーや機器の身元を確かめてからネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーはネットワークのリソースへ侵入することが難しくなります。暗号化を使用するとネットワーク上の送信データは符号化されるため、盗聴者はデータを理解できなくなります。これらのセキュリティ方式は、ワイヤレス ネットワーク上でも同じです。

認証

HP インストール ソフトウェアは、Open System 認証をサポートしています。さらに高度な認証方式については、71 ページの 「用語集」で説明します。これらの方式は、埋め込み Web サーバを経て使用します。

Open System 認証を使用するネットワークでは、ネットワーク ユーザーの個人情報でユーザーをスクリーニングすることはなく、通常は正しい SSID の入力が必要になります。このようなネットワークでは、ちょっとしたのぞき見を防ぐ第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。

注意： 共有キーとサーバー型の認証プロトコルは、HP PSC 埋め込み Web サーバを通して導入します。これについては、71 ページの 「用語集」で説明します。

暗号化

盗聴の危険を減らすために、ワイヤレス セキュリティ キーをネットワークにつくります。HP PSC インストール ソフトウェアは、無許可のユーザーが無線上で送信されるデータにアクセスできないようにするため、WEP (Wired Equivalent Privacy) というワイヤレス セキュリティ方式をサポートしています。この方式では、ひとつの WEP キーを使用します。それぞれのコンピュータや機器は、ネットワーク上で通信するために同一のキーが設定されます。WEP の詳細については、71 ページの 「用語集」を参照してください。

注意： ワイヤレス ネットワークでは、データを送信するために最高 4 つの WEP キーが使われます。3 台のコンピュータと 1 つのアクセス ポイントがある場合、各機器に固有のキーを割り当ててデータ送信を行うことができます。ただし、機器がお互いに通信するためには、固有キー以外のキーもそれぞれの機器に入力する必要があります。

4 つのキーは、HP PSC ソフトウェアをインストールする前に、HP PSC の埋め込み Web サーバに入力しなければなりません。

注意！ HP PSC を使用すると、ネットワーク上のコンピュータからフラッシュ メモリ カードの中身を開くことができます。カードの中身はコンピュータ上で別のドライブとして表示されます。このため、お使いの機器やコンピュータから写真を表示、編集、印刷、電子メール送信できるので便利です。WEP を有効にしていないワイヤレス ネットワークを使用している場合、そのワイヤレス ネットワーク内の誰かに自分のネットワーク名と HP PSC ネットワーク ID が知られてしまうと、HP PSC に挿入しているメモリカードの中身にアクセスされて

しまいます。フラッシュ メモリ カード内のデータのプライバシーを高めるには、ワイヤレス ネットワーク上で WEP か WPA を使用し、またカードを使用していないときは HP PSC からカードを取り外してください。

MAC アドレスの認証

一部の WLAN ベンダは、クライアントの NIC (ネットワーク インタフェース カード) の物理的アドレス (つまり MAC アドレス) に基づく認証をサポートしています。この場合、クライアントの MAC アドレスと、アクセス ポイントが使用する認証テーブル内のアドレスが一致する場合にのみ、アクセス ポイントはクライアントによる関わり合いを許可します。これは、HP PSC から設定することはできません。

インターネットの接続

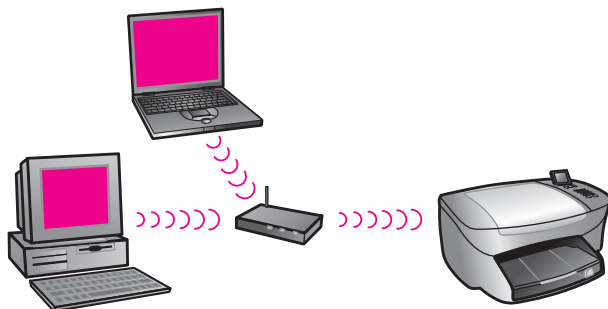
ワイヤレス ネットワークは、インターネットに接続する場合と接続しない場合があります。HP PSC をインターネットに接続されたワイヤレス ネットワークに配置する場合は、HP PSC の IP アドレスが DHCP 経由で割り当てられるようにするため、ワイヤレス ルータ (アクセス ポイントか無線基地局) と DHCP サーバーを使用することをお勧めします。

注意： HP PSC の [HP Instant Share] の [電子メール] ボタンや他の機能を使用するためには、ブロードバンドによるインターネット アクセスが必要です。

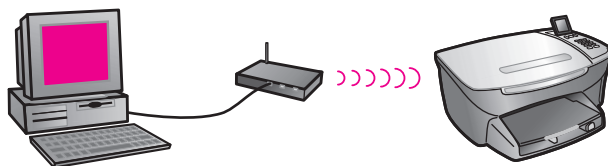
ワイヤレス ネットワークの構成

次のワイヤレス LAN 構成で HP PSC を使用することをお勧めします。

インフラストラクチャ

このモードでは、ネットワーク機器間のワイヤレス通信はすべてアクセス ポイント (または無線基地局) を経て行われます。アクセス ポイントは、ワイヤレス機器を接続する中央ハブやゲートウェイの役割を果たします。それぞれのワイヤレス ネットワーク機器には、アクセス ポイントへの接続を行うアダプタが組み込まれていなければなりません。

この方法では、Ethernet ケーブルを使用して インターネット接続をアクセス ポイント経由で直接行うことができます。

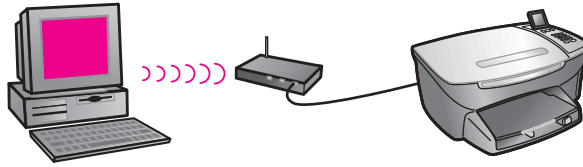
802.3 (Ethernet) からインフラストラクチャへ

この例では、アクセス ポイントが有線ネットワークをワイヤレス ネットワークに接続します。このモデルでは、お使いのコンピュータを有線ネットワーク用に設定し、Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。HP PSC は、インフラストラクチャ モードに設定し、またデータの送受信はそのワイヤレス アダプタがアクセス ポイント経由で行います。

注意： アクセス ポイントに接続するには、Ethernet ケーブルの外部ポートとなる Ethernet ネットワーク インタフェース カード (NIC) がコンピュータに搭載されていることが必要です。

注意： この構成では、インターネット接続を Ethernet ケーブルを使用してアクセス ポイント経由で直接行うことをお勧めします。

インフラストラクチャから 802.3 (Ethernet) へ

この例では、アクセス ポイントがワイヤレス ネットワークを有線機器に接続します。このモデルでは、ワイヤレス ネットワーク アダプタを使用してコンピュータをワイヤレス ネットワーク用に設定し、またデータの送受信はアクセス ポイントを使用して行います。HP PSC は有線ネットワーク用に設定し、また Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続します。

注意 : HP PSC を有線ネットワーク上でセットアップする手順については、1 ページの 「有線ネットワークの基本」を参照してください。アクセス ポイントは、有線デバイスに対してはルータとして機能します。

注意 : この構成では、インターネット接続を Ethernet ケーブルを使用してアクセス ポイント経由で直接行うことをお勧めします。

ワイヤレス ネットワークの最適化

ワイヤレス ネットワークを最適な状態にするために、アクセス ポイントとアダプタをどこに置くか、アンテナをどのように調整するかを検討してください。推奨事項 :

- アクセス ポイントは、ワイヤレス アダプタから見える位置で、しかもワイヤレス通信に使用するエリアの中心位置に配置します。アクセス ポイントは、ネットワーク コンピュータや機器より高い場所に配置します。
- アクセス ポイントは、2.4 GHz で動作する他の無線機器 (電子レンジや携帯電話) から離して配置します。
- ワイヤレス機器は、大型の金属物 (コンピュータ ケース、ディスプレイ モニタ、電気製品など) や、電磁機器 (テレビ、ラジオ、携帯電話、電子レンジなど) から離れた場所に配置します。これらは、ワイヤレス伝送に干渉する可能性があります。
- 暖炉のような大きな石造体が無線の流れを妨げることがないように、ワイヤレス機器を配置してください。金属骨組み、紫外線防止窓フィルム、メタリック ペイント、コンクリート壁や石造壁、床や壁がいくつにも重なった建築構造は、無線信号の強度を低下させます。

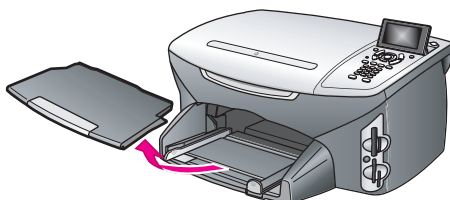
3 hp psc の準備

このセクションでは、HP PSC を有線ネットワークまたはワイヤレス ネットワークに設置するための準備について説明します。

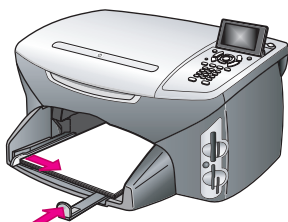
> **注意：** HP PSC を USB ケーブルでお使いのコンピュータに直接接続したい場合は、リファレンス ガイドのセットアップ情報を参照してください。

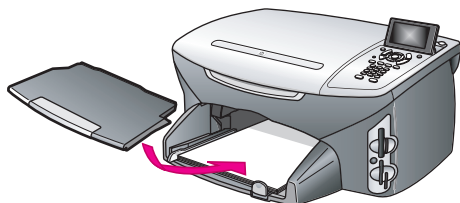
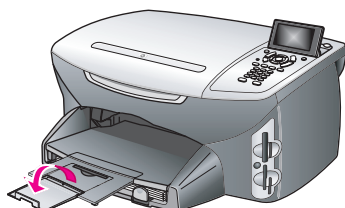
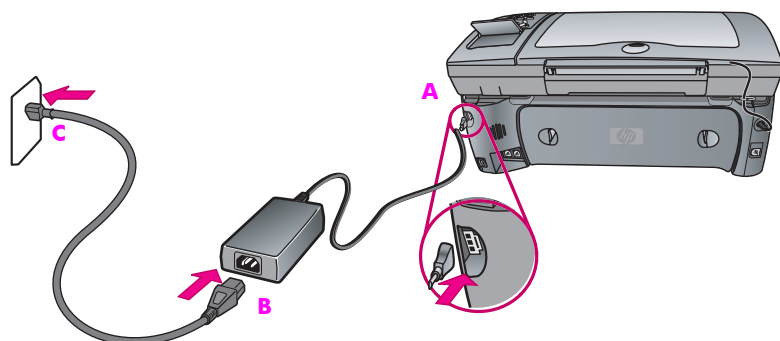
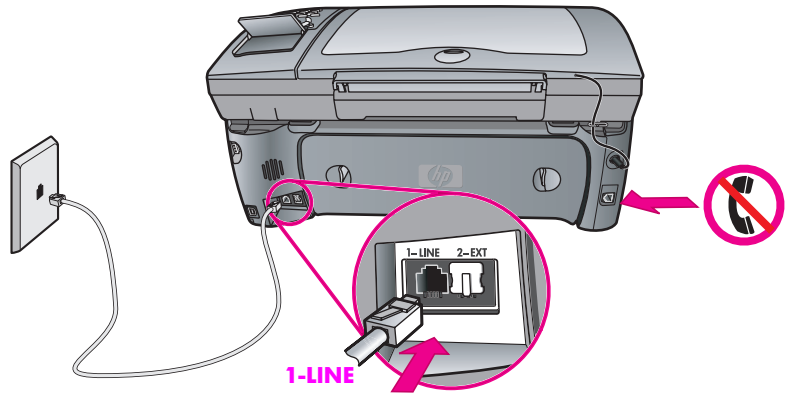
次の手順に従ってください。

1. パッケージの内容物をすべて取り出します。HP PSC からテープや梱包材をすべて取り除きます。
2. ディスプレイを持ち上げてください。

3. 次の手順に従って、用紙をセットしてください。
   a. トレイを取り外します。

   b. 用紙をセットし、用紙ガイドを用紙の方へしずかに押してください。

   注意： 調整ページを印刷するために白い普通紙をセットします。

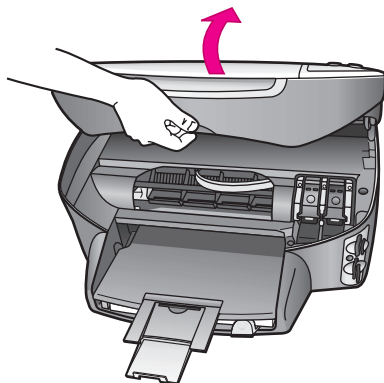
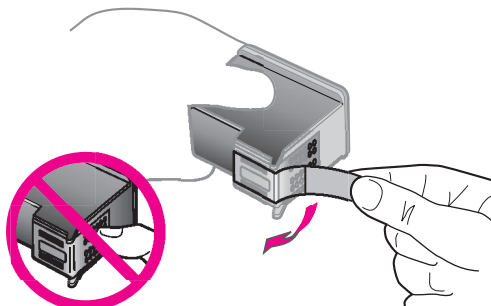
セットアップ

ヒント： 調整ページを印刷するために空白の紙をセットします。

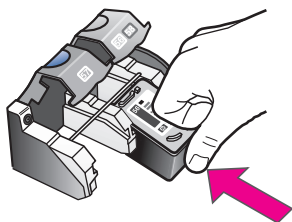
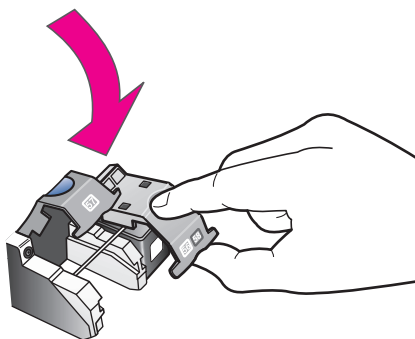
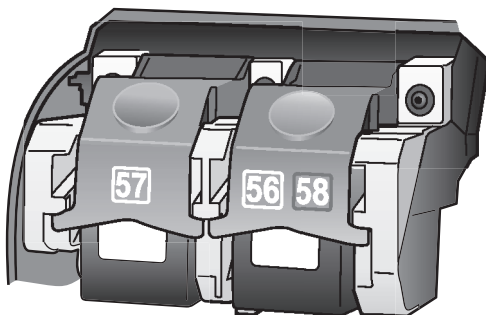
c. 排紙トレイを元に戻します。

d. 補助トレイを引き出します。

4 電源装置を HP PSC に接続し、次に電源コードに接続します。コンセントに差し込みます。

5 本機に付属している電話コードを接続します。

付属の電話コードの片端を左側の電話ジャック (1-LINE) に、もう一方の端は壁側のモジュラー ジャックに接続してください。

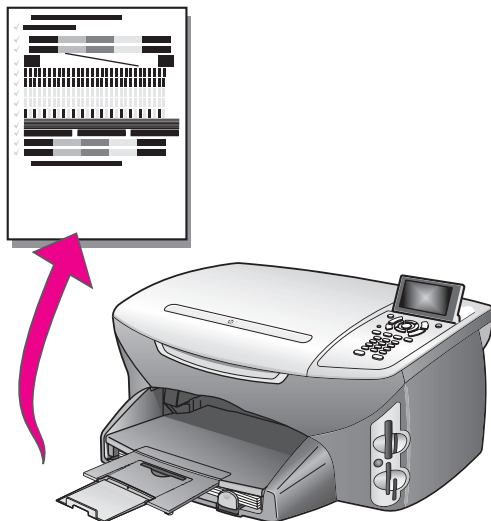
留守番電話を接続するか、付属の電話コード以外のコードを使用する場合は、リファレンス ガイドを参照してください。

6 HP PSC の電源をオンにします。

7 プリント カートリッジを、下記に従って装着してください。

a. プリント キャリッジのアクセスドアをラッチが留まるまで持ち上げます。青とグレーのラッチを上げます。

b. 両方のプリント カートリッジから明るいピンク色のテープを剥がします。金色の接点に触ったり、テープを貼り付け直したりしないでください。

c. 黒プリント カートリッジを、下図のようにラベルを上にして持ちます。カートリッジを、金属バーの下にあるプリント キャリッジの右側 (グレーのラッチ) にスライドさせて取り付けます。

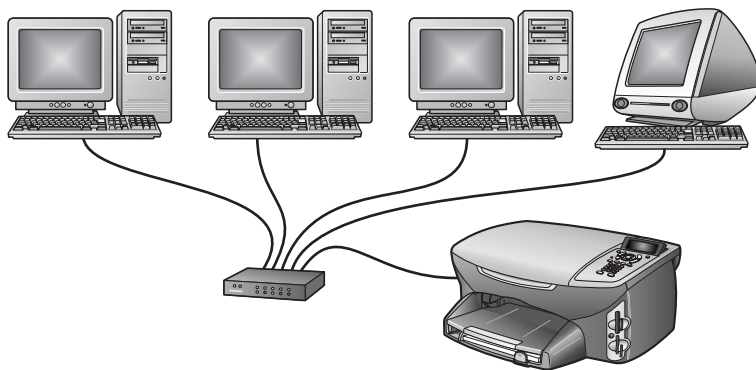
d. カラー プリント カートリッジを、下図のようにラベルを上にして持ちます。カートリッジをプリント キャリッジの左側（ブルーのラッチ）にスライドさせて取り付けます。

e. グレーのラッチの端を手前に引き、止まるまで押し込んでから離します。ラッチが下側のつまみに留まっていることを確認してください。ブルー ラッチにも同じことを繰り返してください。

f. 両方のラッチが所定の位置に固定されていることを確認してください。アクセスドアを閉じます。

8 プリント カートリッジの位置を調整します。

フロントパネルの **[OK]** ボタンを押し、位置調整を開始します。数分間待ってください。1 ページが印刷されたら、調整は完了です。

9 有線セットアップかワイヤレス セットアップを選択します。

ネットワークのタイプを既存のネットワークに合わせてください。HP PSC を有線ネットワークに設置する場合は、21 ページの 「hp psc の有線ネットワークへの設置」を参照してください。ワイヤレス ネットワークについては、41 ページの 「HP PSC のワイヤレス ネットワークへの設置」を参照してください。

既存のネットワークがない場合には、HP 機器を接続する前に、ネットワークをセットアップしてください。有線ネットワークのセットアップ情報については、1 ページの 「有線ネットワークの基本」を参照してください。ワイヤレス ネットワークのセットアップ情報については、7 ページの 「ワイヤレス ネットワークの基本」を参照してください。

4 hp psc の有線ネットワークへの設置

ここでは、HP PSC を Ethernet （有線）ネットワークに設置する方法について説明します。有線ネットワーク設定を行うと、コンピュータから HP PSC にルータ、ハブ、またはスイッチ経由で通信することが可能になります。HP PSC の豊富な機能を活用するため、ブロードバンド インターネットによるアクセスをお奨めします。

このセクションの先に進む前に、1 ページの 「有線ネットワークの基本」の説明に従って有線ネットワークが設定されていること、また 15 ページの「hp psc の準備」の説明に従って HP PSC の準備ができていることを確認してください。

HP PSC が直接接続 (USB ケーブルを使用) 用に設定されており、この接続方式をもう使用しない場合は、HP PSC 2550 ソフトウェアを削除してから先に進んでください。コンピュータと HP PSC から USB ケーブルを取り外します。HP PSC をネットワークに接続し、ソフトウェアを再インストールするには、この後の指示に従ってください。(HP PSC 2550 では、USB 接続とネットワーク接続の*両方*を同時にサポートします。)

このセクションでは次のトピックについて説明します。

hp psc をネットワークに接続する

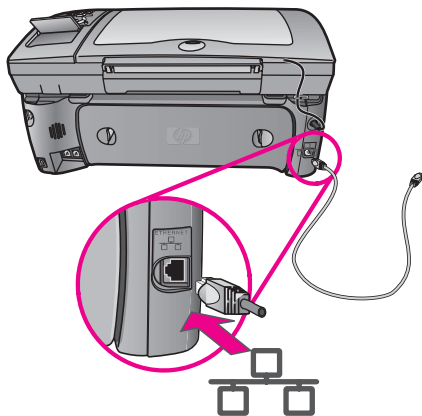
HP PSC を有線ネットワークに接続するには、次のものが必要になります。

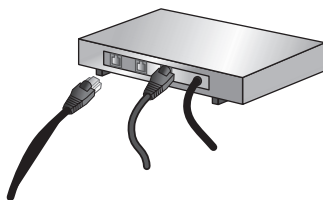
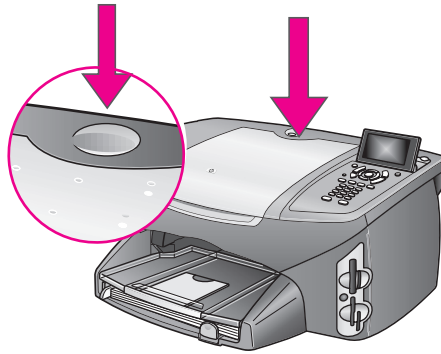
- 機能している有線ネットワーク
- CAT-5 Ethernet ケーブル

  注意 : HP PSC に付属している CAT-5 Ethernet ケーブルが短すぎる場合は、ケーブルの購入が必要になります。

- ブロードバンド インターネットへのアクセス (本機から HP Instant Share に直接アクセスしたい場合のみ - 詳細については『リファレンス ガイド』の「HP Instant Share のネットワーク設定と使用」の章を参照してください)。

hp psc をネットワークに接続する

1 Ethernet ジャックから黄色のプラグを取り外します。Ethernet ケーブルを HP 機器の背面に接続します。

注意 : 付属のケーブルを使用するか、長いケーブルを購入して使用してください。

2 Ethernet ケーブルをハブ、ルータ、またはスイッチに接続します。

3 先に進む前に、HP 機器の青のネットワーク ランプが点灯していることを確認します。点灯するまでに 60 秒ほどかかることがあります。

ランプが点灯しない場合は、電源をいったんオフにして 30 秒間待った後でオンにします。

注意： HP PSC のネットワーク設定がアクティブになり使用できるようになるまで、しばらくかかることがあります。

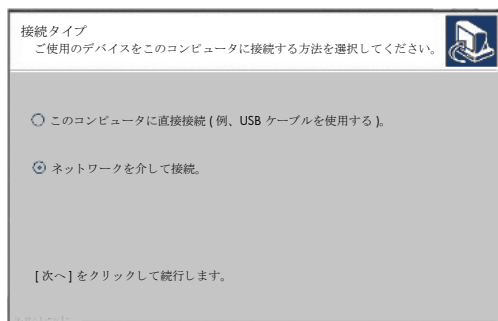
hp psc ソフトウェアを Windows コンピュータにインストールする

HP ソフトウェアをインストールする前に、22 ページの 「hp psc をネットワークに接続する」を参照してください。この後の説明は、Windows コンピュータだけに適用されます。

注意： インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 1 時間かかります。

hp psc ソフトウェアをインストールする

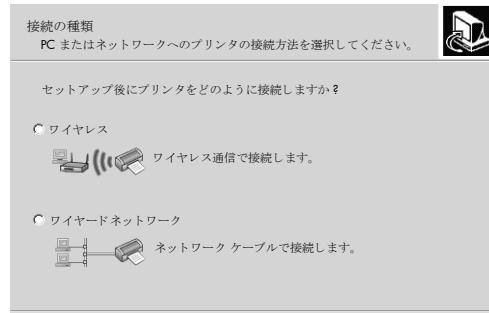
1 コンピュータの電源を入れ、デスクトップが表示されるまで待ちます。
   ネットワークにログオンしていることを確認します。ファイアウォール ソフトウェアをすべてオフにし、すべてのアプリケーションを終了します。
2 HP PSC Windows CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

   [ようこそ] 画面が表示されます。
3 **[次へ]** をクリックし、インストーラの指示に従ってシステムのチェックと準備を行います。また、ドライバ、プラグイン、およびソフトウェアをインストールします。
   これには、数分かかります。

接続タイプ画面

4 **[接続タイプ]** 画面で **[ネットワークを介して接続]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
   セットアップ プログラムがネットワーク上の HP PSC を探している間、[検索中] 画面が表示されます。
   HP PSC が見つかると、[プリンタが見つかりました] 画面が表示されます。
5 プリンタの記述が正しいことを確認します。(構成ページを使用して、プリンタ名と MAC アドレスを確認します。)

有線ネットワークの設置

6 プリンタの記述が正しければ、**[はい、このプリンタをインストールします]** を選択して **[次へ]** をクリックします。

注意： ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、[プリンタが見つかりました] 画面が表示されます。設定してインストールする機器を選択して、[次へ] をクリックします。

2 種類の接続タイプ画面

7 **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク]** を選択して、**[次へ]** をクリックします。

[設定の確認] 画面が表示されます。

8 HP PSC のネットワーク設定を確認し、**[次へ]** をクリックします。

注意： [ネットワーク コンフィギュレーション オプション] 画面が表示された場合は、[ネットワーク設定を自動で行う] を選択して [次へ] をクリックします。

セットアップ プログラムが HP PSC と通信できるようになると、ソフトウェアのインストール中にインストーラのステータス画面が表示されます。これには、数分かかります。

9 コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。

10 コンピュータが再起動したら、**[ファクス セットアップ ウィザード]** の設定と本製品の登録を済ませてください。

詳細については、HP PSC のリファレンス ガイドでファクスの設定に関する章を参照してください。

hp psc ソフトウェアを Macintosh コンピュータにインストールする

HP ソフトウェアをインストールする前に、22 ページの「hp psc をネットワークに接続する」を参照してください。この後の説明は、Macintosh コンピュータだけに適用されます。

注意： インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 1 時間かかります。

hp psc ソフトウェアをインストールする

1 コンピュータの電源を入れ、デスクトップが表示されるまで待ちます。
   ファイアウォール ソフトウェアをすべてオフにし、すべてのアプリケーションを終了します。
2 ネットワーク構成ページを印刷します。
   詳しくは、57 ページの「ネットワーク構成ツールの使用」を参照してください。
3 HP PSC Macintosh CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

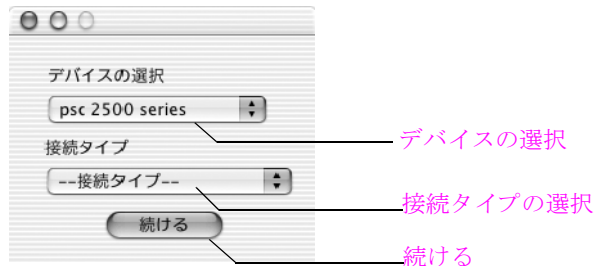
   インストール フォルダがデスクトップに開き、2 つのアイコンが表示されます。

hp all-in-one インストーラ　NCT

インストーラのアイコン

4 [hp all-in-one installer] アイコンをダブルクリックします。
   OS X の場合、[認証] ダイアログボックスが表示されます。OS 9 の場合、ソフトウェア インストーラ画面（ステップ 6）のダイアログボックスが表示されます。

5　コンピュータかネットワークへのアクセスに使用する [名前] と [パスワード] を入力します。

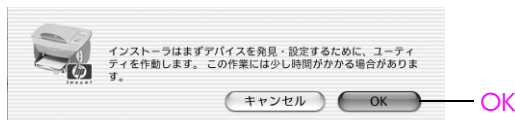
6　［OK］をクリックます。
ソフトウェア インストーラ画面が表示されます。

ソフトウェア インストーラ画面

7　適切な [デバイス] を選択します。

8　接続のタイプを選択します。
HP PSC を USB ケーブルで直接コンピュータに接続している場合は、[続ける] を選択します。それ以外は、[TCP/IP (ネットワーク)] を選択します。

9　[続ける] をクリックします。
ダイアログが現われ、デバイスをネットワーク上で検出して設定する NCT ユーティリティをインストーラが実行し、この作業に少し時間がかかるというメッセージが表示されます。

10　［OK］をクリックます。
[始めに] 画面が表示されます。

有線ネットワークの設置

インストールウィザードへようこそ。

このウィザードはお手持ちのプリンタまたはall-in-oneプリンタの設定をお手伝いします。

「次」をクリックして継続してください。

11 **[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムがネットワーク上のプリンタを検索している間、[検索中] 画面が表示されます。

検索が終了すると、[プリンタが見つかりました] 画面が表示されます。

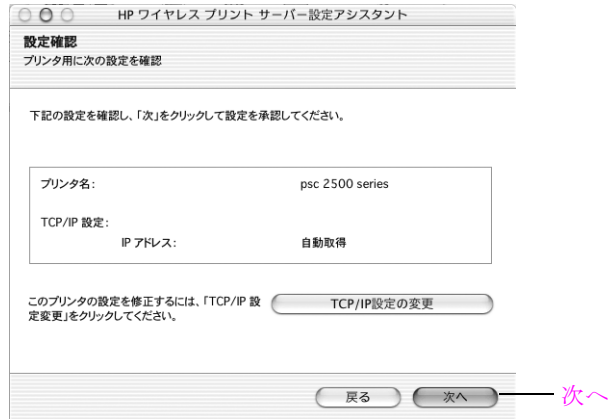
12 設定してインストールする機器を選択して、**[次へ]** をクリックします。

注意 : プリンタが見つからなかった場合は、[プリンタが見つかりません] 画面が表示されます。続いて表示される画面の指示に従ってください。それでもプリンタが見つからない場合は、リファレンス ガイドでトラブルシューティングの項を参照してください。

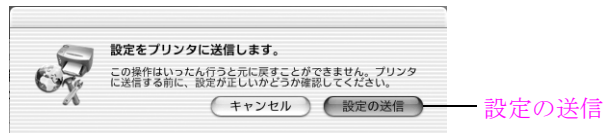
[接続の種類] 画面が表示されます。

13 **[有線ネットワーク]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムは、HP PSC が設定されているかチェックします。(新規インストールの場合、デバイスは設定されません。)

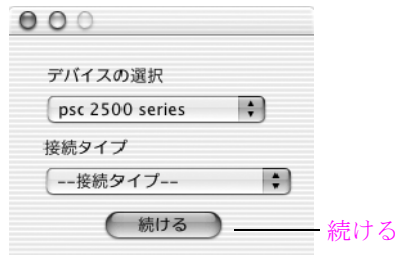
HP PSC に IP アドレスが動的に割り当てられ、またデバイスの設定が [設定確認] 画面に表示されます。

14 設定が正しいことを確認し、**[次へ]** をクリックします。

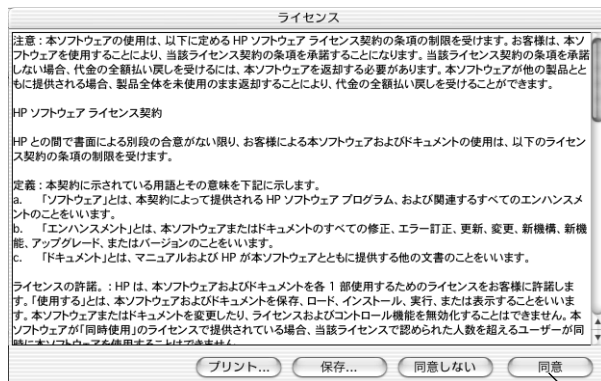
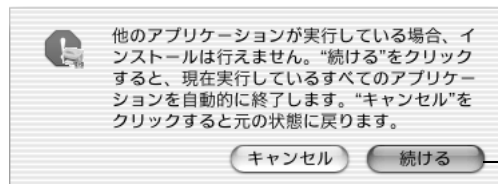
注意： 設定が間違っている場合は、[TCP/IP 設定の変更] をクリックします。画面の指示に従ってください。

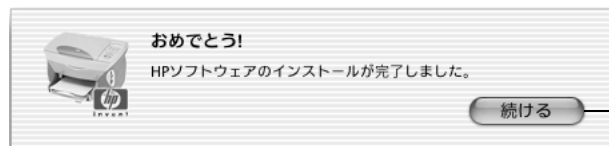
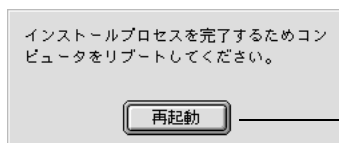
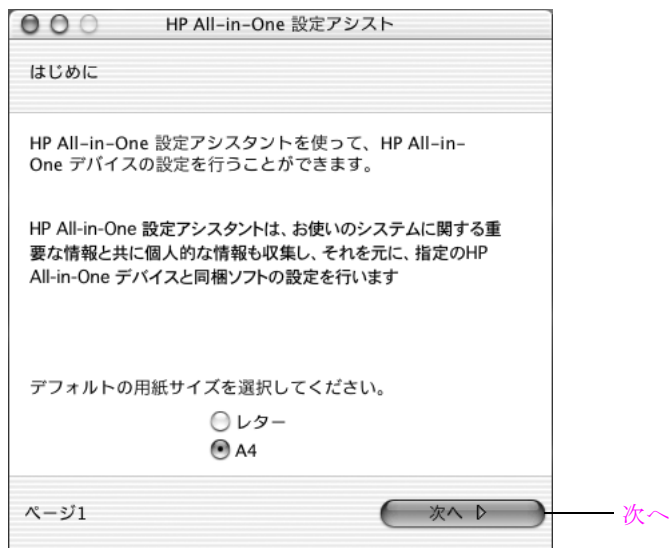
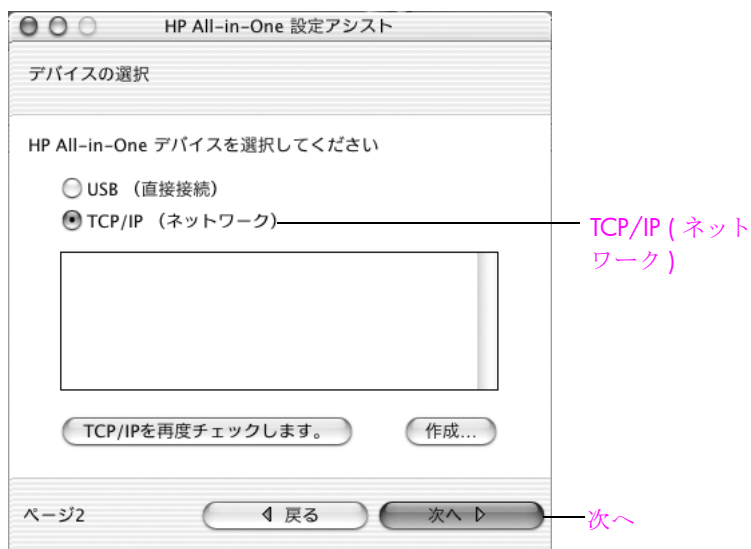
次のダイアログが表示されて、選択内容の最終確認を求められます。

15 **[設定の送信]** をクリックします。

セットアップ プログラムが HP PSC と通信できるようになると、[インストールが終了しました] 画面が表示されます。

16 **[終了]** をクリックします。

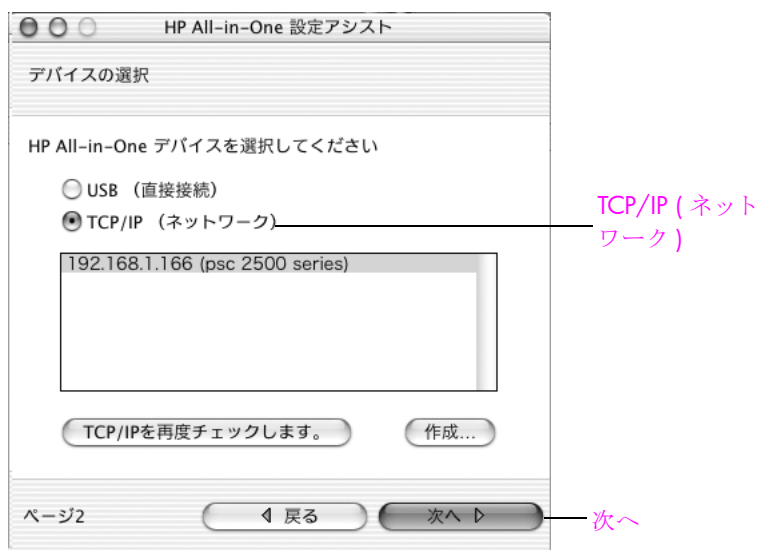
インストーラが再起動され、ソフトウェア インストーラ画面が再表示されます。

17 **[続ける]** をクリックします。

[ライセンス] 画面が表示されます。

18 ライセンス同意書を読み、**[同意]** をクリックして、先に進みます。
起動中のすべてのプログラムを閉じるように、警告が表示されます。

19 **[続ける]** をクリックします。
ほかのプログラムはすべて終了します。([キャンセル] ボタンを押すと、ファイルを何もインストールせずにインストールを中止します。)
インストールが始まります。

OS X では、インストールが完了したら、次の画面が表示されます。

OS 9 では、インストールが完了すると、コンピュータを再起動するようメッセージが表示されます。

20 OS X では [続ける] をクリックすると、OS 9 ではお使いのシステムが再起動すると、「HP All-in-One 設定アシスト」の ページ 1 が表示されます。

21 A4 を選択して、**[次へ]** をクリックします。
「HP All-in-One 設定アシスト」の ページ 2 が表示されます。

22 **[TCP/IP (ネットワーク)]** を選択します。
ソフトウェアがネットワーク デバイスを探している間、[ネットワーク デバイス] 画面が表示されます。

注意：HP PSC が一覧に表示されなかった場合、プラグが繋がれて、スイッチがオンになっており、ネットワークに接続されているかを確認してください。それから［再スキャン］をクリックします。

23 プリンタを選択して、［選択］をクリックします。

HP PSC が設定アシストのページ 2 （デバイスの選択）にリストされています。

24 [次へ] をクリックします。

設定アシストのページ 3 (ユーザー ID) が表示されます。

25 3 ページから 7 ページまで、必要情報を入力して、**[次へ]** をクリックします。

ページ 4 (外線):

ページ 5 (電話回線):

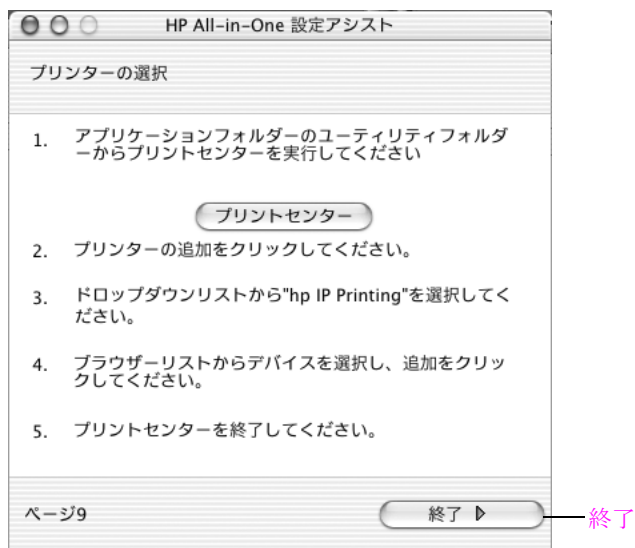
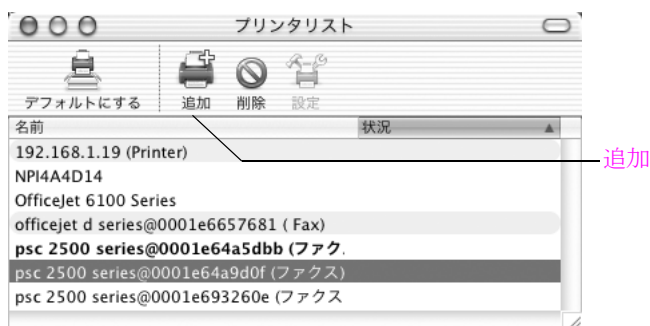
HP All-in-One 設定アシスト
電話回線
電話とファックスに別々の電話回線を使いますか？
はい、別々の回線を使います。
いいえ、同じ回線を使います。
電話会社が提供する特殊呼出し音サービスをご利用の場合は、ファックスの呼出し音タイプを選択してください。
全タイプ
ページ5
戻る
次へ
次へ

ページ 6 (ファクス番号):

HP All-in-One 設定アシスト
ファックス番号
次の所定の欄に、ファックスを受け取る番号を入力してください。
受信用ファックス番号:
765-4322
赤い欄は必須事項です
ページ6
戻る
次へ
次へ

ページ 7 (PC モデム):

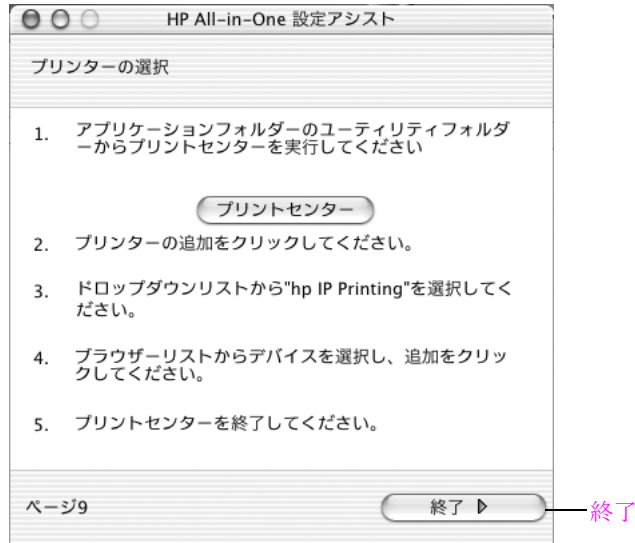
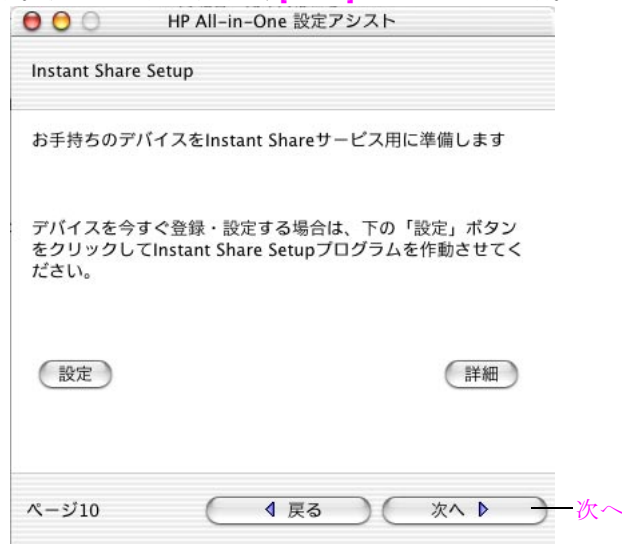
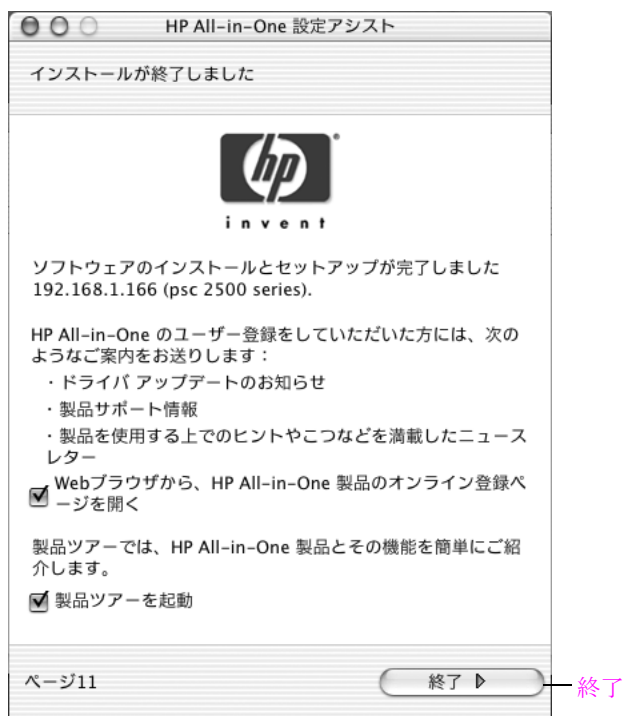
ページ 7 で [次へ] をクリックすると、ページ 8 (完了) が表示され、入力された情報がまとめられています。

26 ページ 8 の［完了］をクリックします。
ページ 9 (プリンタの選択) が表示されます。

27 **[プリントセンター]** ボタンをクリックします。
[プリンタ リスト] 画面が表示されます。

28 [プリンタリスト] 画面で、**[追加]** をクリックします。
次の画面が表示されます。

a. ドロップダウン リストから **[HP IP プリント]** を選択します。

b. [検索] をクリックして、使用可能なプリンタを見つけてください。
c. リストからご使用のプリンタを選択してください。
d. [追加] をクリックします。

29 画面の上部の [プリントセンター] メニューから、[終了] を選択してください。

30 設定アシストのページ 9 で [終了] をクリックします。

31 OS X の場合、設定アシストのページ 10 が表示されます。デバイスを今すぐ登録、あるいは設定する場合は [設定] ボタンをクリックします。後で設定する場合は、[次へ] をクリックします。

32 設定アシストのページ 11 が表示されます。[終了] をクリックします。

OS 9 では、**[プリンターの選択]** ダイアログボックスが表示されます。ダイアログを完了して、**[終了]** をクリックします。

[終了] を OS X と OS 9 のどちらでクリックしても、HP PSC 2550 ツアーが表示されます。

33 新しい HP PSC について知りたいときは製品ツアーを実行してください。

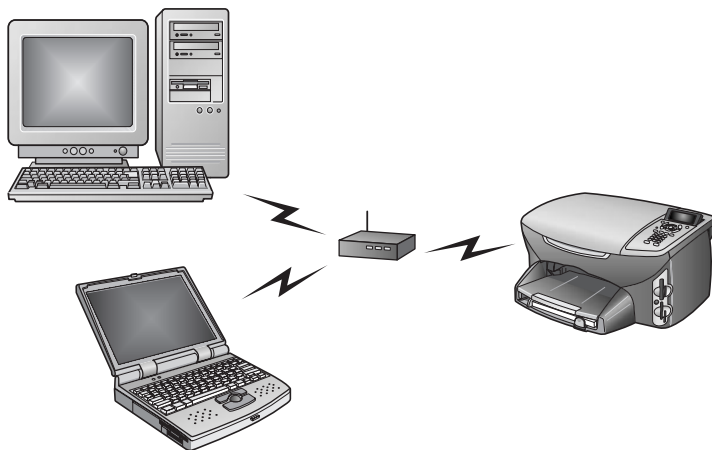
ネットワーク構成ページを印刷する

ネットワーク構成ページは、HP PSC から印刷できます。構成ページには、プリント サーバーの構成に関して役立つ情報、ネットワークの統計、その他のネットワーク設定情報があります。

ネットワーク構成ページを印刷する方法の詳細については、57 ページの「ネットワーク構成ツールの使用」を参照してください。

5 hp psc のワイヤレス ネットワークへの設置

ワイヤレス セットアップを行うと、HP PSC がお使いのコンピュータと、ワイヤレス アクセス ポイントや無線基地局を経て通信可能になります。ここでは、HP PSC を初めてワイヤレス ネットワークに設置する場合の方法について説明します。

注意： ここでは、インフラストラクチャ モードだけを説明します。アドホック モードは説明しません。

先に進む前に、7 ページの 「ワイヤレス ネットワークの基本」の説明に従ってワイヤレス ネットワークをセットアップしてください。また、15 ページの「hp psc の準備」の説明に従って HP PSC を準備しておいてください。

注意： HP PSC が直接接続 (USB ケーブルを使用) 用に設定されており、この接続方式をもう使用しない場合は、HP PSC 2550 ソフトウェアを削除してから先に進んでください。コンピュータと HP PSC から USB ケーブルを取り外します。このセクションの指示に従って HP PSC をネットワークに接続し、ソフトウェアを再インストールしてください。(HP PSC 2550 では、USB 接続とネットワーク接続の*両方*を同時にサポートします。)

ワイヤレス ネットワーク上のすべての機器は、同じワイヤレス設定にしてください。これにより、お互いに通信することが可能になります。HP PSC を初めてワイヤレス ネットワークに設置した時点では、ネットワーク上の機器とは通信できません。HP PSC のワイヤレス ネットワーク アダプタのネットワーク名 （SSID）、ワイヤレス チャネル、およびワイヤレス セキュリティ （WEP か WPA）キー (使用している場合) は、ネットワーク上の他の機器と同じに設定する必要があります。

WPA - ワイヤレス ネットワークで WPA を使用している場合は、これを HP 機器で設定してからソフトウェアをインストールします。詳しくは、55 ページの 「WPA 暗号化データの入力」を参照してください。

802.11g との互換性 - この HP PSC には、802.11g システムと互換性がある 802.11 無線が組み込まれています

> **注意！** HP PSC をワイヤレス アダプタ経由でセットアップするのはやめたほうがよいでしょう。まったくのワイヤレス セットアップでは難易度も高く、操作ミスも起こりやすく、また送信されるデータも安全ではありません。
>
> HP PSC は、CAT-5 Ethernet ケーブルを使用して有線接続でセットアップしてください。インストールとセットアップが終了した後で、ケーブルを取り外してワイヤレス接続に切り換えます。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 43 ページの 「hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する」
- 45 ページの 「hp psc ソフトウェアを Windows コンピュータにインストールする (インフラストラクチャ モード)」
- 49 ページの 「hp psc のワイヤレス接続 (インフラストラクチャ モード) 用に hp psc ソフトウェアを Macintosh にインストールする」

hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する

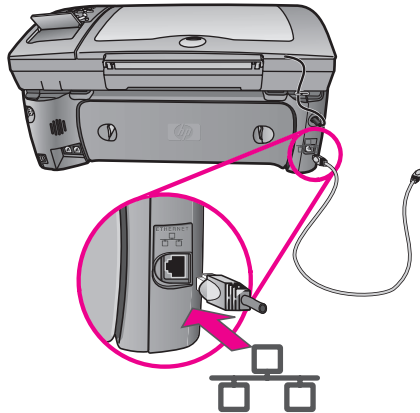
HP PSC をワイヤレス ネットワークに接続するには、以下が必要になります。

- CAT-5 Ethernet ケーブル

  注意 : CAT-5 Ethernet ケーブルを使用して有線接続で HP PSC をセットアップするように画面表示されます。インストールとセットアップが終了すると、ケーブルを取り外してワイヤレス接続に切り替えるようにとの指示が表示されます。HP PSC に付属している Ethernet ケーブルが短すぎる場合は、ケーブルの購入が必要になります。

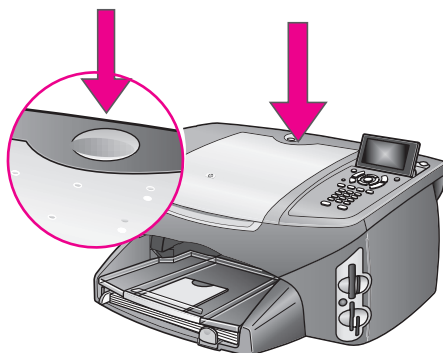
- 稼動しているワイヤレス ネットワーク。
- 現在のワイヤレス設定 : 既存のネットワークの SSID (ネットワーク名)、通信モード、およびワイヤレス ネットワークで使用される WEP キー。
- ブロードバンド インターネットへのアクセス (本機から HP Instant Share に直接アクセスしたい場合のみ - 詳細については『リファレンス ガイド』の「HP Instant Share のネットワーク設定と使用」の章を参照してください)。

hp psc をワイヤレス ネットワークに接続する (インフラストラクチャ モード):

1 Ethernet ジャックから黄色のプラグを取り外します。Ethernet ケーブルを HP PSC の背面に接続します。

注意 : 付属のケーブルを使用するか、長いケーブルを購入して使用してください。

2 Ethernet ケーブルをアクセス ポイントに接続します。(ケーブルは後で取り外します。)

3 先に進む前に、HP 機器の青のネットワーク ランプが点灯していることを確認します。

点灯するまでに 60 秒ほどかかることがあります。(ネットワーク ランプを消すには、ケーブルをカバー背面から取り外します。)

青のランプは、ネットワーク接続がアクティブになっていることを表します。

注意： HP PSC のネットワーク設定がアクティブになり使用できるようになるまで、しばらくかかることがあります。

4 30 秒間待ってから、ネットワーク構成ページを印刷します。(ネットワーク構成ページを印刷する方法の詳細については、57 ページの「ネットワーク構成ツールの使用」を参照してください。)

最初は、ネットワーク構成ページに記載されている SSID、通信モード、暗号化キー、およびワイヤレス チャネルは、接続をつくろうとしているネットワークのものと一致していません。表示されるのは、デフォルトの設定です。インストールとセットアップの後にネットワーク構成ページを実行すると、SSID、通信モード、暗号化キー、およびワイヤレス チャネルはネットワークのものと一致するはずです。インストール後に値のいずれかが異なっている場合、ワイヤレス ネットワークに接続することはできません。

注意： 複数の WEP キーを使用しているか、拡張認証プロトコル (EAP/802.1x か EAP-PSK) と暗号化方式 （WPA）を使用している場合は、埋め込み Web サーバを使用してワイヤレス設定を行ってからソフトウェアをインストールします。詳しくは、54 ページの 「埋め込み Web サーバの使用」を参照してください。

hp psc ソフトウェアを Windows コンピュータにインストールする (インフラストラクチャ モード)

インフラストラクチャ モードで HP PSC に接続する場合には、有線接続で HP PSC のセットアップと設定を行うことをお奨めします。

HP PSC を Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続し、セットアップが完了した後でケーブルを外してワイヤレス接続に切り換えます。コンピュータは、有線と無線のどちらでもアクセス ポイントに接続できます。

注意 : インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 1 時間かかります。

hp psc ソフトウェアをインストールする

1 次の情報を書き留めてください。(アクセス ポイントのマニュアルかウェブ ページを参照してください。)

SSID
(ネットワーク名):
WEP キー
(該当する場合):

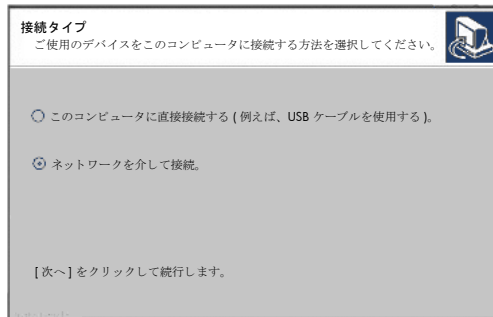
2 コンピュータの電源を入れ、デスクトップが表示されるまで待ちます。

ネットワークにログオンしていることを確認します。ファイアウォール ソフトウェアをすべてオフにし、すべてのアプリケーションを終了します。

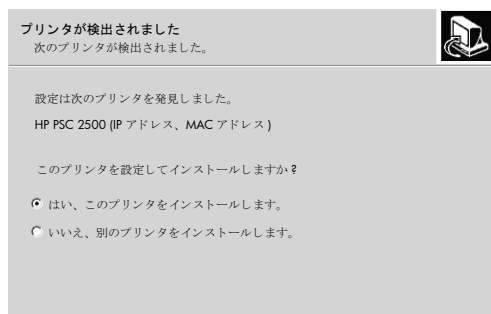
3 HP PSC Windows CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

[ようこそ] 画面が表示されます。

4 **[次へ]** をクリックし、インストーラの指示に従ってシステムのチェックと準備を行います。また、ドライバ、プラグイン、およびソフトウェアをインストールします。-

これには、数分かかります。

接続タイプ画面

5 [接続タイプ] 画面で [ネットワークを介して接続] を選択し、[次へ] をクリックします。

セットアップ プログラムがネットワーク上の HP PSC を探している間、[検索中] 画面が表示されます。

[プリンタが検出されました] 画面

HP PSC が見つかると、[プリンタが検出されました] 画面が表示されます。

6 プリンタの記述が正しいことを確認します。(構成ページを使用して、プリンタ名と MAC アドレスを確認します。)

7 プリンタの記述が正しければ、[はい、このプリンタをインストールします] を選択して [次へ] をクリックします。

注意 : ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、[検出されたプリンタ] 画面が表示されます。設定してインストールする機器を選択して、[次へ] をクリックします。

2 種類の接続の種類画面

8 2 種類の [接続の種類] 画面で [ワイヤレス] を選択して、[次へ] をクリックします。

[ネットワーク名の選択] 画面が表示されたら、ステップ 8 に進みます。それ以外は、ステップ 9 に進みます。

9 ネットワークと一致する [ワイヤレス ネットワーク名 （SSID）] をドロップダウン リストの一覧から選択し、[次へ] をクリックします。-

10 2 つある **[ワイヤレスの暗号化 - WEP]** 画面の 1 つが表示されます。以下のいずれかを実行してください。

状況	操作
SSID からは WEP が必要かどうかを判断できない	**[データの暗号化を有効にする]** を選択し、ネットワークで使用されている WEP 伝送キーを入力し、**[次へ]** をクリックします。 または ネットワークで WEP 暗号化が使用されていない場合は、**[次へ]** をクリックします。
SSID が WEP キーを必要とすることが決まっている	ネットワークでデータの伝送に使用されている **[WEP キー]** を入力し、**[次へ]** をクリックします。

ネットワーク上のすべてのワイヤレス デバイスで同じ暗号化設定を使用する必要があります。

ワイヤレスの暗号化 - WEP
ネットワークの WEP 暗号化設定を入力します。

ネットワーク上のすべてのワイヤレス デバイスで、同じ暗号化設定を使用する必要があります。ネットワークで WEP 暗号化を使用する場合は、[データの暗号化を有効にする] をオンにし、WEP 暗号化キーを入力します。

データ暗号化を有効にする

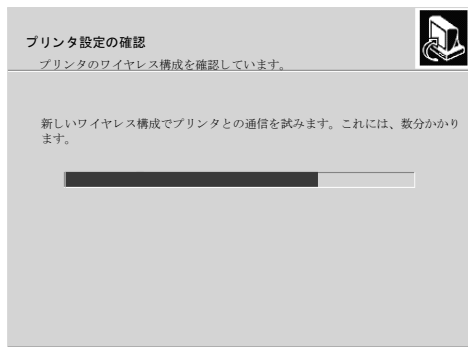
WEP キー :

暗号化設定方法および複数の WEP キーの使用方法の詳細については、[ヘルプ] をクリックしてください。

[ワイヤレスの暗号化 - WEP] 画面の例

注意 : インストーラは、デフォルトの伝送キーとして Key 1 を設定します。複数の WEP キーをネットワークで使用している場合は、インストールの前に、伝送キーとして識別したキーを HP PSC の埋め込み Web サーバー（EWS）に入力します。54 ページの「複数の WEP キーの入力」を参照してください。

11 次の [プリンタ設定の確認] 画面で、ワイヤレス プリンタ設定を確認して **[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムが、内部ネットワーク コンポーネントの構成に基づいて HP PSC のワイヤレス設定を確認します。

[プリンタ設定の確認] 画面

セットアップ プログラムが無線をオンにし、HP PSC が新しいワイヤレス設定を使用してネットワークと通信できることを確認すると、[プリンタ設定の確認] 画面が表示されます。

セットアップ プログラムが HP PSC と通信できるようになると、[ネットワーク ケーブルを取り外してください] 画面が表示されます。

[ネットワーク ケーブルを取り外してください] 画面

12 Ethernet ケーブルを HP PSC とコンピュータ / ワイヤレス アクセス ポイントから取り外します。

13 **[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムがソフトウェアをインストールしている間は、ステータス画面が表示されます。これには、数分かかります。

14 コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。

15 コンピュータが再起動したら、**[ファクス セットアップ ウィザード]** の設定と本製品の登録を済ませてください。

詳細については、HP PSC のリファレンス ガイドを参照してください。

注意 : XP では、再起動する必要がありません。

hp psc のワイヤレス接続 (インフラストラクチャ モード) 用に hp psc ソフトウェアを Macintosh にインストールする

インフラストラクチャ モードで Macintosh を HP PSC に接続する場合には、有線接続で HP PSC のセットアップと設定を行うことをお勧めします。

HP PSC を Ethernet ケーブルでアクセス ポイントに接続し、セットアップが完了した後でケーブルを外してワイヤレス接続に切り換えます。コンピュータは、有線と無線のどちらでもアクセス ポイントに接続できます。

注意： HP PSC ソフトウェアをインストールする前に、43 ページの「hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する」を参照してください。

注意： インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 1 時間かかります。

hp psc ソフトウェアをインストールする

1 ネットワーク名とパスワードを書き留めてください。
SSID
(ネットワーク名):
WEP キー
(パスワード):

2 コンピュータの電源を入れ、デスクトップが表示されるまで待ちます。
ネットワークにログオンしていることを確認します。ファイアウォール ソフトウェアをすべてオフにし、すべてのアプリケーションを終了します。

3 ネットワーク構成ページを印刷します。
詳しくは、57 ページの 「ネットワーク構成ツールの使用」を参照してください。

4 HP PSC Macintosh CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。

インストール フォルダがデスクトップに開き、2 つのアイコンが表示されます。

インストーラのアイコン

5 [hp all-in-one installer] アイコンをダブルクリックします。-
[認証] 画面が表示されます。

6 コンピュータかネットワークへのアクセスに使用する [名前] と [パスワード] を入力します。

7 [OK] をクリックます。
ソフトウェア インストーラ画面が表示されます。

ソフトウェア インストーラ画面

8 適切な [デバイス] を選択します。

9 接続のタイプを選択します。
HP PSC を USB ケーブルで直接コンピュータに接続している場合は、[続ける] を選択します。それ以外は、[TCP/IP (ネットワーク)] を選択します。

10 [続ける] ボタンをクリックします。
[ネットワーク インストーラ] 画面が表示されます。
インストーラがユーティリティを実行し、ネットワーク上のデバイスを検出して設定することを伝えるメッセージが表示されます。この処理には、数分かかります。

11 [OK] をクリックます。
[ようこそ] 画面が表示されます。

12 [次へ] をクリックします。
セットアップ プログラムがネットワーク上のプリンタを検索している間、[検索中] 画面が表示されます。
検索が終了すると、[プリンタが見つかりました] 画面が表示されます。

13 設定してインストールする機器を選択して、[次へ] をクリックします。

[プリンタが見つかりました] 画面

注意 : プリンタが見つからなかった場合は、[プリンタが見つかりません] 画面が表示されます。続いて表示される画面の指示に従ってください。それでもプリンタが見つからない場合は、リファレンス ガイドでトラブルシューティングの項を参照してください。

14 ネットワーク構成ページを使用して、HP PSC のプリンタ記述が正しいことを確認します。

15 **[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムは、選択された機器がワイヤレス設定をサポートしているかチェックします。

機器 （HP PSC 2550）にワイヤレス機能があるが、有線モード (CAT-5 Ethernet ケーブルが接続されている) になっている場合は、[接続の種類] 画面が表示されます。

接続タイプ画面

16 **[ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

セットアップ プログラムは、HP PSC が設定されているかチェックします。(新規インストールの場合、本機は設定されません。)

HP PSC が設定されていない場合、セットアップ プログラムは利用可能なワイヤレス ネットワークの一覧を HP PSC の内部ネットワーク コンポーネントから入手します。

[ネットワーク名を選択] 画面が表示されます。

17 一覧から既存のワイヤレス ネットワーク名 (SSID) を選択し、**[次へ]** をクリックします。

または

ネットワーク名が一覧に表示されない場合は、**[ワイヤレスネットワーク名の入力]** を選択して **[次へ]** をクリックします。**[ワイヤレス構成]** 画面で、**[ワイヤレス ネットワーク名 （SSID）]** を入力し、**[コミュニケーションモード]** として **[インフラストラクチャ]** を選択して **[次へ]** をクリックします。

デバイス用にセットアップしているワイヤレス ネットワークで暗号化に WEP キーが使用されている場合は、**[WEP キー]** を入力します。

注意 : AirPort ネットワークへのアクセスに、WEP キーを直接使用する代わりにパスワードを使用している場合は、**[AirPort Admin]** ユーティリティを実行して、対応する WEP キーを入手します。OSX では、選択した BaseStation 用にツールバーから **[設定]** を実行します。WEP の詳細については、71 ページの 「用語集」を参照してください。

HP PSC に IP アドレスが動的に割り当てられ、またデバイスの設定が [設定確認] 画面に表示されます。

[設定確認] 画面

18 設定が正しいことを確認し、**[次へ]** をクリックします。
セットアップ プログラムが新しい設定を使用して HP PSC と通信しようとすると、[プリンタ設定の確認] 画面が表示されます。これには、数分かかります。
セットアップ プログラムが HP PSC と通信できる場合は、[有効性確認] 画面が表示されます。

[有効性確認] 画面

19 CAT-5 Ethernet ケーブルをデバイスとアクセス ポイント / コンピュータから取り外します。

20 **[次へ]** をクリックします。
[インストールが終了しました] 画面が表示されます。

21 **[終了]** をクリックします。
インストーラが再起動され、ソフトウェア インストーラ画面が再表示されます。-

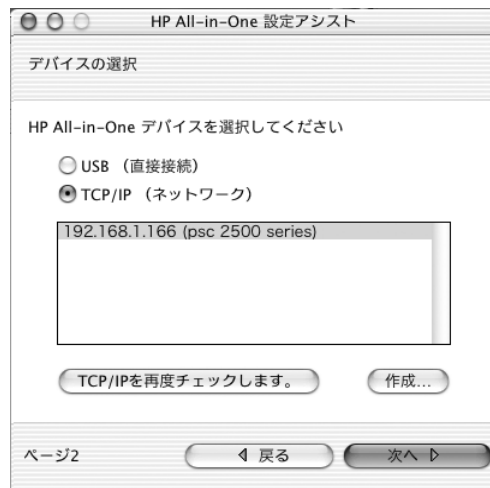
22 **[続ける]** をクリックします。

23 hp all-in-one インストーラの指示に従ってシステムのチェックと準備を行います。また、ドライバ、プラグイン、およびソフトウェアをインストールします。-

24 **[インストールが終了しました]** 画面で、**[続ける]** をクリックします。

25 デフォルトの用紙サイズを選択して、［続ける］ をクリックします。
[HP All-in-One 設定アシスタント] の 1 ページ目が表示されます。

26 **[次へ]** をクリックします。

27 **[デバイスの選択]** 画面で、**[TCP/IP]** を選択します。

28 お使いの HP PSC を表示されるデバイスの一覧から選択し、**[次へ]** をクリックします。
[ファクスの設定] が開始します。

29 **[HP All-in-One 設定アシスタント]** の指示に従って **[ファクスの設定]** を終了します。

30 **[プリント センタ]** の設定を行ってください。

31 **[インストールが終了しました]** 画面で、**[終了]** をクリックします。
HP フォト イメージング ディレクタ がデスクトップで起動します。

埋め込み Web サーバの使用

埋め込み Web サーバーを使用すると、ネットワーク機器 (HP PSC など) を簡単に管理できます。ご使用の Web ブラウザから、状態を監視したり、ネットワーク パラメータを設定したり、デバイスの機能にアクセスできます。

拡張認証プロトコルと暗号化方式を使用しているか、複数の WEP キーを使用している場合は、ソフトウェアをインストールする前に、次の作業を 1 つまたは複数行うことが必要になります。

- 54 ページの 「複数の WEP キーの入力」
- 55 ページの 「WPA 暗号化データの入力」
- 56 ページの 「詳細な認証データの入力」

埋め込み Web サーバーを開く

1. ネットワーク構成ページを印刷します (詳細については、57 ページの「ネットワーク構成ツールの使用」を参照してください)。
2. ブラウザの **[アドレス]** フィールドに、URL かデバイス IP アドレスを入力します。

   hp psc 2550 の [デバイス情報] が記された EWS の [ホーム] ページが表示されます。
3. **[ホーム]** ページのナビゲーション メニューから、**[言語の選択]** をクリックします。
4. ドロップダウン ボックスを使用して、Web インタフェースの言語を選択します。
5. HP PSC の内部 Web ページから、次のことができます。

- プリンタ状態のチェック
- ネットワークの設定
- ネットワーク セキュリティの設定
- ネットワーク経由によるページのスキャン
- サポートおよびサプライ品購入のための HP Web サイトへのリンク

注意 ! 印刷サーバーの無線ネットワーク設定を変更するには十分に気を付けてください。接続できなくなることがあります。接続できなくなってしまったら、再接続のために新しい設定が必要になるでしょう。印刷サーバーがネットワーク接続できなくなった場合、工場出荷時の初期設定に戻してソフトウェアを再インストールしなければならない場合もあります。

注意 : TCP/IP （Transmission Control Protocol/Internet Protocol）は、無効にすることはできません。埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

複数の WEP キーの入力

ネットワーク上で複数の WEP キーを使用している場合は、この情報を HP PSC 埋め込み Web サーバに入力してからソフトウェアをインストールしてください。

注意： インストールの前に埋め込み Web サーバにアクセスしてワイヤレス設定を行うには、有線接続が必要になります。詳しくは、43 ページの 「hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する」を参照してください。

複数の WEP キーを埋め込み Web サーバに入力する

1. ネットワーク構成ページから入手した URL またはデバイス IP アドレスを、ブラウザの **[アドレス]** フィールドに入力します。

   hp psc 2550 の [デバイス情報] が記された EWS の [ホーム] ページが表示されます。
2. **[ホーム]** ページのナビゲーション メニューから、**[言語の選択]** をクリックします。
3. ドロップダウン ボックスを使用して、Web インタフェースの言語を選択します。
4. **［ネットワーキング］** タブをクリックします。

   [ネットワーク設定] ページが表示されます。[一般] タブが開きます。
5. **［ワイヤレス］** タブをクリックします。
6. **[暗号化]** セクションまで下にスクロールします。このセクションで、**[静的（WEP）]** 暗号化パラメータを追加できます。
7. **[有効]** を選択します。
8. **[静的 （WEP）]** で、ネットワークに使用されている WEP キーを入力します。
9. 入力したキーが **[英数字]** と **[16 進数]** のどちらであるかを選択します。
10. 伝送されるデータの暗号化に使用するキーを選択します。
11. **[適用]** ボタンをクリックします。

   注意： WEP キーを忘れた場合は、アクセス ポイントで表示できるか試してください。アクセス ポイントでキーが表示されない場合は、ネットワークを再設定し、新しいキーを割り当てる必要があります。

WPA 暗号化データの入力

Wi-Fi プロテクテッド アクセス (WPA) は、標準ベースで共同利用できるセキュリティで、無線 LAN のデータ保護とアクセス制御のレベルを大いに向上させます。- データ暗号化を向上させるため、WPA では TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) を使用します。また、ユーザー認証を強化するため、WPA は 802.1x と EAP (Extensible Authentication Protocol) を採用しています。

WPA がネットワークで使用されている場合、802.1x (サーバ ベース) か PSK (事前共有キー) のいずれかの認証が使用されています。-- ソフトウェアをインストールする前に、認証と暗号化情報を HP PSC 埋め込み Web サーバに入力します。

注意： インストールの前に埋め込み Web サーバにアクセスしてワイヤレス設定を行うには、有線接続が必要になります。詳しくは、43 ページの 「hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する」を参照してください。

WPA 暗号化データを埋め込み Web サーバに入力する

1 ネットワーク構成ページから入手した URL またはデバイス IP アドレスを、ブラウザの [アドレス] フィールドに入力します。
EWS の [ホーム] ページが表示されます。
2 ［ネットワーキング］ タブをクリックします。
3 **[ネットワークの設定]** ページで、**[ワイヤレス]** タブを選択します。
4 **[認証]** セクションにスクロールし、**[詳細設定]** をクリックします。
[ワイヤレス通信モード] ページが表示されます。
5 **[インフラストラクチャ]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
[ワイヤレス ネットワーク名] ページが表示されます。
6 検出されたネットワークの一覧からネットワーク名 （SSID）を選択するか、新しいワイヤレス ネットワークの名前を入力します。
7 **[次へ]** をクリックします。
[ワイヤレス認証] ページが表示されます。
8 **[EAP/802.1x]** か **[EAP/PSK]** を選択します。
9 **[EAP/802.1x]** を選択した場合は、ご使用のデバイスがワイヤレス ネットワークで使用する認証方式を選択し、認証サーバー情報を入力し、認証サーバーでプリンタを確認し、必要な証明書を設定し、サーバーの設定を入力します。
または
[EAP/PSK] を選択した場合は、**[パスワード]** (長さは 8 ～ 63 文字、スペースも 1 文字と数える) を入力します。このパスワードは、ソフトウェアが事前共有キーを生成するために使用します。-
注意： ネットワーク上のすべてのデバイスで同じパスワードを使用する必要があります。
10 画面の指示に従って、HP PSC を選択した認証方式と暗号化方式に設定します。
11 設定が終わったら、**[次へ]** をクリックします。
[設定の確認] ページが表示されます。
12 情報が正しいことを確認し、**[完了]** をクリックします。

詳細な認証データの入力

EAP/802.1x (EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、LEAP、PEAP) や EAP/PSK (事前共有キー) などの拡張認証方式を使用している場合は、その情報を HP PSC 埋め込み Web サーバに入力してからソフトウェアをインストールします。暗号化情報を同時に入力します。

注意： インストールの前に埋め込み Web サーバにアクセスしてワイヤレス設定を行うには、有線接続が必要になります。詳しくは、43 ページの 「hp psc をワイヤレス ネットワークかコンピュータに接続する」を参照してください。

詳細な認証データを HP PSC 埋め込み Web サーバに入力する場合の詳細については、55 ページの 「WPA 暗号化データの入力」を参照してください。

6 ネットワーク構成ツールの使用

HP PSC 2500 Series (HP PSC) には、ネットワーク機能を持つ内部コンポーネントが組み込まれています。ネットワーク コンポーネントは HP PSC の裏側に組み込まれていて、有線と無線のどちらでも Ethernet に接続できます。ネットワーク構成の設定は、HP PSC および埋め込み Web サーバー (EWS) の [ネットワーク] メニューから行えます。

注意： [ネットワーク] メニューは、HP PSC 2500 Series からのみ選択できる機能です。

このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 58 ページの 「ネットワーク メニューを開く」
- 59 ページの 「ネットワーク メニュー オプションの使用」
- 68 ページの 「埋め込み Web サーバによる hp psc の管理」

ネットワーク メニューを開く

1 フロント パネルの [セットアップ] ボタンを押します。
[セットアップ メニュー] がカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

2 [6] を押して、[セットアップ メニュー] から [ネットワーク] を選択します。

3 [OK] を押します。
[ネットワーク] メニューがカラー グラフィック ディスプレイに表示されます。

ネットワーク メニュー オプションの使用

[ネットワーク] メニュー オプションは HP PSC のフロント パネルの [セットアップ メニュー] から選択できます。このセクションでは次のトピックについて説明します。

- 59 ページの 「ネットワーク構成ページの印刷」
- 66 ページの 「無線を有効または無効にする」
- 66 ページの 「無線のデフォルトに復元」
- 67 ページの 「リンク速度の変更」

ネットワーク構成ページの印刷

1. **[ネットワーク]** メニューを開きます。(**ネットワーク メニューを開く**を参照してください。)
2. **[1]** を押して、**[ネットワーク]** メニューから **[ネットワーク構成ページを印刷する]** を選択します。
3. ［**OK**］を押します。
   HP PSC によってネットワーク構成ページが印刷されます。

   注意： 設定ページの設定はすべて、接続をつくろうとしているネットワークの設定と同じでなくてはなりません。値が違うと、ネットワークを接続できません。

次にネットワーク構成ページに示される各種フィールドについて説明します。

全般ネットワーク設定

フィールド	説明
ステータス	HP PSC の状態には以下のようなものがあります。 • **初期化中**：ネットワークが初期化中です。 • **準備完了**：データ送受信の待機中です。 • **カバーが開いています**：本体のカバーが開いているためオフライン状態です。 • **紙詰まり**：本体の紙詰まりが取り除かれていないためオフライン状態です。 • **用紙切れ**：用紙が切れているためオフライン状態です。 • **オフライン**：本体がオフライン状態です。
ネットワーク接続タイプ	HP PSC のネットワーク モードを以下に示します。 • **有線**：HP PSC を Ethernet ケーブルで IEEE 802.3 ネットワークに接続します。 • **ワイヤレス**：HP PSC は IEEE 802.11b ネットワークにワイヤレス接続されています。 • **無効**：有線と無線の両方の通信接続方式が無効になっています。 **注意：** 1 度に使用できる接続方式は 1 方式だけです。

フィールド	説明
URL	埋め込み Web サーバー (EWS) の Web アドレス。URL は、**http://<IP アドレス>** の形式で表示されます。 **注意：** EWS を開くには、この URL が必要です。
ハードウェア アドレス	HP PSC ごとに固有に付けられている媒体アクセス制御 (MAC) アドレス。ネットワーク ハードウェアに割り振った 12 桁の固有の識別番号。電子的な指紋のようなもの。同一の MAC アドレスを持つハードウェアは存在しません。 **注意：** ISP によって、インストール時にケーブル モデムや DSL モデムに接続しているネットワーク カードや LAN アダプタの MAC アドレスを登録するよう求められることがあります。
ファームウェア バージョン	内部ネットワーク コンポーネントおよび本体ファームウェアのバージョン コード。ハイフンでつながっています。 **注意：** サポートに電話をかけると、問題にもよりますが、このファームウェア バージョン コードを聞かれることがあります。
ホスト名	インストール ソフトウェアがデバイスに割り振っている TCP/IP 名。デフォルトでは、NPI の後に 6 桁の MAC アドレスが続きます。デバイス名は埋め込み Web サーバーからも設定できます。
IP アドレス	HP PSC のインターネット プロトコル (IP) アドレス。ネットワーク上のデバイスを識別する固有のアドレスです。 IP アドレスは、DHCP または AutoIP から動的に割り当てられます。静的 IP アドレスを設定することもできますが、推奨いたしません。 **注意：** 無効な IP アドレスをインストール時に手動で割り当てると、ネットワーク コンポーネントからデバイスを表示できなくなります。
サブネット マスク	サブネットはインストール ソフトウェアが割り当てる IP アドレスで、これを使うと大きなネットワークの中の一部分としてネットワークを利用できるようになります。サブネットは、サブネット マスクで指定されます。このサブネット マスクによって、HP PSC の IP アドレス内のネットワーク部分を示すビットとサブネット部分を示すビットが決められます。 **注意：** サブネットを利用するすべての HP PSC とコンピュータに、同じサブネットを割り当てることをお勧めします。
デフォルト ゲートウェイ	他のネットワークの入り口となる、ネットワーク上のノード。このインスタンスのノードには、コンピュータやその他機器を使用できます。 **注意：** デフォルト ゲートウェイのアドレスはインストール ソフトウェアが割り当てます。

フィールド	説明
設定ソース	IP アドレスを機器に割り当てるプロトコル。以下のようなものがあります。 • 自動 (AutoIP) : インストール ソフトウェアによって構成パラメータが決められます。 • DHCP : 構成パラメータは、そのネットワーク上の DHCP (動的ホスト構成プロトコル) サーバーによって設定されます。小さなネットワークでは、ルーターがこれに当たります。 • 手動 : 静的 IP アドレスなどの構成パラメータが手動で設定されます。 • 指定なし : 初期化中のモード。
DNS サーバー	ネットワーク ドメイン名サーバー (DNS) の IP アドレス。 Web の使用や電子メールの送信には、ドメイン名が使用されています。例えば、URL http://www.hp.com にはドメイン名である hp.com が含まれています。インターネットのドメイン名サーバー (DNS) は、ドメイン名を IP アドレスに変換します。機器側からは、この IP アドレスを使用してドメイン名を参照します。 • IP アドレス : ドメイン名サーバーの IP アドレス。 • 指定なし : IP アドレスが指定されていないか、本体が初期化中です。 注意 : DNS の IP アドレスがネットワーク構成ページに表示されるか確認してください。IP アドレスが表示されない場合は、ISP から DNS IP アドレスを取得してください。DNS の IP アドレスは Instant Share の登録に必要です。DNS の IP アドレスは、埋め込み Web サーバーから入力できます。
mDNS サービス名	マルチキャスト DNS サービス名。Apple Rendezvous が HP PSC の識別に使用する名前で、デバイス名と MAC アドレスで構成されます。例えば、psc 2500 series (<MAC アドレス >)。 Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカルネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。ネーム サービスを行うため、Rendezvous は DNS の代わりに mDNS を使用します。 mDNS があれば、LAN に接続されているすべてのプリンタをご使用のコンピュータから認識できます。また、Ethernet 対応機器であれば、ネットワーク上のどの機器でも操作できます。
管理者パスワード	埋め込み Web サーバーで使用する管理者のパスワード状態。以下のような状態があります。 • [設定] : パスワードが設定されています。埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するには、管理者パスワードを入力する必要があります。 • [未設定] : パスワードが設定されていません。埋め込み Web サーバーのパラメータを変更するときに、管理者パスワードを入力する必要はありません。

フィールド	説明
リンク設定	ネットワークのデータ伝送速度。以下のような種類があります。 • **802.11b**: 無線ネットワーク用 • **10T FULL** : 有線ネットワーク用 • **10T HALF** : 有線ネットワーク用 • **100TX-Full**: 有線ネットワーク用 • **100TX Half** : 有線ネットワーク用

無線ネットワーク設定

フィールド	説明
ワイヤレス ステータス	ワイヤレス ネットワークのステータス。 • **無効** : 802.3 有線ネットワークをアクティブにすると、802.11b ワイヤレス ネットワークが無効になります。これがデフォルト設定です。 • **初期化中** : ワイヤレス ネットワークを初期化しています。 • **スキャン中** : HP PSC がすべてのチャネルでネットワーク名 (SSID) をスキャンしています。 • **準備完了** : HP PSC からワイヤレス ネットワークへの接続が確立されました。ネットワークで認証が行われたときに、HP PSC は正常に認証されました。 • **エラー** : HP PSC をワイヤレス アクセス ポイントに関連付けることができないか、または認証できないネットワーク エラーが発生しました。(これはインフラストラクチャ モードだけに適用されます。) また、以下のような説明が補足されます。 • **信号が検出されません** : HP PSC がワイヤレス信号を検出できませんでした。アクセス ポイントが見つかりませんでした。HP PSC が自動的に復旧を試みます。 • **SSID をスキャンしています** : HP PSC がすべてのチャネルで SSID (ネットワーク名) をスキャンしています。間違ったネットワーク名が入力された、またはアクセス ポイントがダウンしているためと考えられます。HP PSC が引き続きネットワークの検出を試みます。 • **認証が進行中です** : ネットワークで HP PSC の認証を試みています。 • **認証に失敗しました** : ユーザー名やパスワードを間違って入力したか、または認証タイプがアクセス ポイントで認識または承認されなかったため、認証に失敗しました。**認証方式** パラメータを表示して、リンク レベル認証やサーバーによる認証が失敗していないか確認してください。 • **暗号化が必要です** : このネットワークには暗号化が必要ですが、HP PSC では暗号化が無効になっています。

フィールド	説明
通信モード	機器やステーションがやりとりを行う IEEE 802.11 ネットワーキング フレームワーク。 • **インフラストラクチャ** : HP PSC が無線ルーターや無線基地局などの無線アクセス ポイント経由でネットワーク機器とやりとりします。 • **アドホック** : 無線アクセス ポイントは使用しません。これはピアツーピア ネットワークとも呼ばれます。Macintosh ネットワークでは、アドホック モードはコンピュータ間モードとも呼ばれます。
ネットワーク名 (SSID)	Service Set Identifier。無線 LAN (WLAN) を識別する、32 文字までの固有の識別子。SSID は、HP PSC が接続されているネットワーク名とも見なされます。
信号強度 (1 ～ 5)	送信信号または帰還信号は 1 段階から 5 段階に分けられます。 • **5** - 最高 • **4** - 良い • **3** - 普通 • **2** - 悪い • **1** - 最低 • **信号なし** : ネットワーク上で信号が検出されませんでした。 • **< 空欄 >**:HP PSC が SSID を読み取り中の場合、信号強度は空欄になります。 • **該当なし** : アドホック ネットワークにはこのパラメータは適用されません。
アクセス ポイントのハードウェア アドレス	HP PSC が接続されているネットワークにあるアクセスポイントの、ハードウェア アドレス。以下のような種類があります。 • **<MAC アドレス >**: アクセス ポイントの固有の MAC (メディア アクセス制御) ハードウェア アドレス。 • **該当なし** : アドホック ネットワークにはこのパラメータは適用されません。
チャネル	現在無線通信で使用されているチャネル数。これはご使用のネットワークによって異なります。また、要求されたチャネル数とは異なる場合があります。1 から 14 までの数字で示されますが、国 / 地域によって認可チャネル域に制限があります。 • **< 数 >**:1 から 14 までの値。国 / 地域によって異なります。 • **なし** : 使用中のチャネルはありません。 • **該当なし** : WLAN は無効か、またはネットワークがアドホック モードです。 **注意 :** インフラストラクチャ モードの場合、チャネルはアクセス ポイントを見れば分かります。

フィールド	説明
認証方式	使用中の認証方式には、次の種類があります。 • **オープン システム** (アドホック、インフラストラクチャ両用): 認証は使用しません。 • **共有キー** (インフラストラクチャのみ) : WEP キーが必要です。 • **LEAP**(インフラストラクチャのみ) : EAP サーバー認証が必要です。 • **PEAP**(インフラストラクチャのみ) : EAP サーバー認証が必要です。 • **EAP-TLS**(インフラストラクチャのみ) : EAP サーバー認証が必要です。 • **EAP-MD5**(インフラストラクチャのみ) : EAP サーバー認証が必要です。 • **EAP-TTLS**(インフラストラクチャのみ) : EAP サーバー認証が必要です。 • **EAP-PSK**(インフラストラクチャのみ) : EAP および事前 ã、有キー (WPA/PSK)。 認証ではユーザーや機器の身元を確かめてからネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーはネットワークのリソースへ侵入することが難しくなります。このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。 オープン システム認証を使うネットワークでは、ネットワーク ユーザーを個人情報に基いて選別しません。あらゆる無線ユーザーがネットワークからアクセス可能です。しかし、このようなネットワークではちょっとしたのぞき見を防ぐ第 1 レベルのセキュリティとして、WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化が使用されることがあります。 共有キーによる認証方法を使用するネットワークでは、ユーザーや機器が静的キー (16 進数か英数字による文字列) で自分の身元確認をしなければならないため、セキュリティが向上します。このキーは、ネットワークユーザーすべてが共有します。つまり、どのユーザーや機器も同じキーを使用します。WEP 暗号化は、共有キーによる認証とともに使用されます。このとき、認証と暗号化の両方に同じキーを使用します。 サーバー ベース (EAP/802.1x) の認証を行うネットワークは、セキュリティが大いに強化されます。これはエンタープライズ レベルのネットワークでよく使われています。専用サーバーがネットワークに常駐していて、ネットワークへのアクセスを許可する前にユーザーや機器の身元を確認します。認証サーバーでは、複数の異なる認証プロトコルが使用される場合があります。 **注意 :** 共有キーと EAP/802.1x 認証は、埋め込み Web サーバー (EWS) からのみ入力できます。

フィールド	説明
暗号化	ネットワークで使用されている暗号化方式には次のようなものがあります。 • **なし**：暗号化は使用されていません。 • **64 ビット WEP**：WEP キーは 5 文字の英数字または 10 桁の 16 進数です。 • **128 ビット WEP**：WEP キーは 13 文字の英数字または 26 桁の 16 進数です。 • **動的**：WEP、TKIP、またはその両方で動的暗号化が使用されています。 WEP では、無線上のデータを暗号化することで、エンドツーエンド送信と同等のセキュリティを実現することを目的としています。このセキュリティ方式は無線ネットワークによく使われています。
WPA	Wi-Fi プロテクテッド アクセス。 • **有効**：WPA が有効になっています。 • **無効**：WPA が無効になっています。 Wi-Fi プロテクテッド アクセスは標準ベースで共同利用できるセキュリティで、無線 LAN のアクセス制御とデータ保護のレベルを大いに向上させます。データ暗号化を向上させるため、WPA では TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) を使用します。また、ユーザー認証を強化するため、WPA は 802.1x と EAP (Extensible Authentication Protocol) を採用しています。 WPA は、企業と一般家庭 /SOHO の 2 つの基本ソリューションをサポートしています。IT リソースを用いた企業環境では、Wi-Fi プロテクテッド アクセスと同時に RADIUS などの認証サーバーを使用して、集中アクセス制御と管理を行います。一般家庭および個人事業所の環境では、手入力のキーやパスワードを使う事前共有キー (PSK) という特別な家庭モードで WPA を実行してセキュリティを確保します。PSK は一般家庭や個人事業所が簡単に設定できるように作られています。 **注意：** WPA/802.1x と WPA/PSK パラメータは EWS からのみ入力できます。

データ送受信情報

フィールド	説明
送信したパケットの総数	HP PSC が起動してから正常に送信したパケット数。このカウンタは、HP PSC の電源をオフにするとクリアされます。 パケット交換方式ネットワークでメッセージを送信すると、メッセージはパケット単位に分けられます。各パケットにはデータだけでなく宛先アドレスが格納されます。
受信したパケットの総数	HP PSC が起動してから正常に受信したパケット数。このカウンタは、HP PSC の電源をオフにするとクリアされます。
受信した不良パケット	HP PSC が起動してから受信に失敗したパケット数。このカウンタは、HP PSC の電源をオフにするとクリアされます。

無線を有効または無効にする

HP PSC では、3 種類のインタフェースをサポートしています。

- **USB**: 最大 12 Mbps のデータ転送速度、プラグアンドプレイ、および ホット プラグをサポートする外部バス規格。
- **802.3**: 有線 LAN に適用される規格。100Base-T (あるいは高速 Ethernet) では、最大 100 Mbps のデータ転送速度をサポートします。
- **802.11b**:802.11 無線規格の拡張版。無線 LAN に適用され、2.4 GHz 帯域で最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートします。

USB と一緒にアクティブにできるのは、802.3 (有線) と 802.11b (無線) のどちらかひとつです。802.3 と 802.11b は同時にアクティブにできません。アクティブ インタフェースを決定する詳細については、次の表をご覧ください。

状況	操作
無線が [オン] に設定されていて、Ethernet ケーブルが接続されていない。	802.11b がアクティブなネットワーク インタフェースです。
無線がオンかオフかにかかわらず、Ethernet ケーブルを差し込んでいる。	802.3 がアクティブなインタフェースになります。
無線が [オフ] に設定されている	HP PSC は有線状態に固定されます。

注意 : HP PSC を有線 LAN で使用するため HP PSC の無線機能をお使いにならない場合は、無線の設定をデフォルトの [オフ] のままにしてください。

無線を有効または無効にする

1. **[ネットワーク]** メニューを開きます。(58 ページの 「ネットワーク メニューを開く」を参照してください。)
2. **[2]** を押して、**[ネットワーク]** メニューから **[無線を有効にする]** を選択します。
3. **[OK]** を押します。

   カラー グラフィック ディスプレイに無線の設定オプションが表示されます。

   注意 : 無線のデフォルト設定は [オフ] です。
4. ▼ および ▲ ボタンで、**[オン]** または **[オフ]** のいずれかを選択します。
5. **[OK]** を押します。

無線のデフォルトに復元

HP PSC 2500 Series の工場出荷時の設定は次のとおりです。

- 通信モード : アドホック
- SSID:hpsetup
- 暗号化 :WEP を使用しない
- 無線 : オフ

無線のデフォルトに戻す

1 **[ネットワーク]** メニューを開きます。(58 ページの 「ネットワーク メニューを開く」を参照してください。)
2 **[3]** を押して、**[ネットワーク]** メニューから **[無線のデフォルトに復元する]** を選択します。
3 **[OK]** を押します。
これで工場出荷時の初期設定に戻されました。

注意！ このオプションを実行すると、有線と無線のパラメータ設定がすべてクリアされます。ネットワークに無線接続している場合にこのオプションを実行すると、IP アドレスがリセットされてしまう*ことがあります*。すると、他のコンピュータとアクセス ポイントから本体を認識できなくなります。このオプションを実行すると、現在の接続モード、SSID、暗号化設定が*消去され*、*上記のデフォルト設定に戻ります*。[無線のデフォルトに復元する] は、ネットワーク設定を再設定するときにのみ実行してください。

リンク速度の変更

リンク速度とは、有線ネットワーク上の回線を経由してデータが転送される速度です。

HP PSC の内部ネットワーク コンポーネントでは自動検出方式を使用して、スイッチ、ハブ、その他の機器との Ethernet リンク速度を解決します。しかし場合によっては、接続した機器が標準以外のリンク速度だったり、ケーブル接続問題のせいで最適でない速度が決定されたりすることがあります。このようなときは、HP PSC のサポート速度を手動で設定できます。

注意！ Ethernet ポートのリンク速度を変更するには十分に気をつけてください。選択した設定内容が Ethernet 接続装置に有効でないとネットワークが接続できなくなり、トラフィックが遮断される恐れがあります。

リンク速度を変更する

1 **[ネットワーク]** メニューを開きます。(58 ページの 「ネットワーク メニューを開く」を参照してください。)
2 **[4]** を押して、**[ネットワーク]** メニューから **[リンク速度を変更する]** を選択します。
3 **[OK]** を押します。
カラー グラフィック ディスプレイにリンク速度の設定オプションが表示されます。

注意： リンク速度のデフォルト設定は [自動] です。

4 ▼ と ▲ ボタンで、**[自動]**、**[10 Mbps 半二重]**、**[10 Mbps 全二重]**、**[100 Mbps 半二重]** または **[100 Mbps 全二重]** のいずれかを選択します。
5 **[OK]** を押します。

埋め込み Web サーバによる hp psc の管理

埋め込み Web サーバー（EWS）を使用すると、HP PSC 2500 Series を簡単に管理できます。ご使用の Web ブラウザから、状態を監視したり、本体ネットワーキング パラメータを設定したり、本体の機能を開くことができます。詳細については、EWS の画面から [ヘルプ] を参照してください。

埋め込み Web サーバーを開く

1. ネットワーク構成ページを印刷します。
2. ブラウザの **[アドレス]** フィールドに、URL かデバイス IP アドレスを入力します。

   hp psc 2500 series の [デバイス情報] が記された EWS の [ホーム] ページが表示されます。
3. **[ホーム]** ページのナビゲーション メニューから、**[言語の選択]** をクリックします。
4. リストから Web インタフェース用の言語を選択します。
5. HP PSC の内部 Web ページから、次のことができます。

- プリンタ (HP PSC) 状態のチェック
- ネットワークの設定
- ネットワーク セキュリティの設定
- ネットワーク経由によるページのスキャン
- サポートおよびサプライ品購入のための HP Web サイトへのリンク

注意！ 印刷サーバーの無線ネットワーク設定を変更するには十分に気を付けてください。接続できなくなることがあります。接続できなくなってしまったら、再接続のために新しい設定が必要になるでしょう。印刷サーバーがネットワーク接続できなくなった場合、工場出荷時の初期設定に戻してソフトウェアを再インストールしなければならない場合もあります。

注意： コンピュータの TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) は無効にしないでください。埋め込み Web サーバーとの通信に必要です。

ネットワークのセキュリティを高める

他のネットワークと同様に、無線 LAN (WLAN) のセキュリティではアクセス制御とプライバシーが中心です。従来の WLAN セキュリティでは、サービス設定 ID (SSID)、公開キーや共有キーによる認証、静的 WEP キー、オプションの媒体アクセス制御 (MAC) による認証などを使用していました。これらを組み合わせることで、初歩レベルのアクセス制御とプライバシー保護が可能になります。

WLAN には高度な認証と暗号化も採用すべきでしょう。たとえば、TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) セキュリティを取り入れた WPA/802.1x、EAP/802.1x 認証、WPA/PSK などがあります。これらの専門用語については、62 ページの 「無線ネットワーク設定」のリファレンス ガイドに説明があります。

注意： 無線ネットワークを保護するには、セットアップ時に無線セキュリティ方式 (WEP か WPA) を導入することを強くお奨めします。また、コンピュータ ウィルスを防ぐアンチウィルス プログラムを使用す

る、わかりにくいパスワードを設定する、不明な添付ファイルは開かない、など基本的なセキュリティ ルールを守ることをお奨めします。
ファイアウォール、侵入検知システム、ネットワークのセグメント化など、その他ネットワーク コンポーネントもネットワーク設計の一環として考慮してください。

本体を設置後に、ネットワークのセキュリティを向上する

注意: HP PSC の設置後、ネットワークに暗号化と認証を追加するには、ネットワーク上の他のノードの設定を変更する前に HP PSC の設定を変更します。

1. ネットワーク構成ページを印刷します。
2. ブラウザの **[アドレス]** フィールドに、URL かデバイス IP アドレスを入力します。

   hp psc 2500 series の [デバイス情報] が記された EWS の [ホーム] ページが表示されます。
3. **[ホーム]** ページのナビゲーション メニューから、**[言語の選択]** をクリックします。
4. リストから Web インタフェース用の言語を選択します。
5. **[ネットワーキング]** タブをクリックします。

   [ネットワーク設定] ページが表示されます。[全般] タブが開きます。
6. **[ワイヤレス]** タブをクリックします。
7. **[暗号化]** セクションまで下にスクロールします。このセクションで、**[静的 (WEP)]** 暗号化パラメータを追加できます。
8. ネットワークが **[オープン システム]** 以外の認証方式を使用している場合は、**[認証]** セクションにある **[詳細設定]** をクリックします。
9. お使いの機器を、高度な認証とセキュリティ スキーム用に設定します。

   EWS に無線セキュリティを追加する詳細については、HP PSC のリファレンス ガイドを参照してください。

   注意: 暗号化 / 認証の設定をネットワーク上の残りのノードに適用し終わらないうちは、HP PSC には接続できません。

用語集

802.3 (Ethernet) Ethernet は、10 Mbps のデータ転送速度をサポートするローカル エリア ネットワーク (LAN) のアーキテクチャです。IEEE 802.3 標準の基礎となった Ethernet の仕様です。Ethernet の新しいバージョンは 100Base-T (または Fast Ethernet) と呼ばれ、100 Mbps のデータ転送速度をサポートしています。そして、最新のバージョンである Gigabit Ethernet は、秒当たり 1 ギガビット (1,000 メガビット) のデータ転送速度をサポートしています。

802.11b ワイヤレス LAN に適用されるワイヤレス ネットワーク プロトコルの 1 つで、2.4 GHz の帯域で最大 11 Mbps の転送速度を実現します。信号の強度や干渉によってデータが混乱していると、転送速度は 5.5 Mbps に低下し、さらに 2 Mbps へ、最後には 1 Mbps まで低下します。転送速度は状況によって低下することがありますが、ワイヤレス ネットワークの安定性と信頼性は維持されます。802.11b によって、Ethernet に匹敵するワイヤレス機能が可能になります。

802.11g 802.11g は、2.4 GHz の帯域内で 802.11b のデータ転送速度を 54 Mbps に拡張したものです。ただし、802.11b の無線カードと 802.11g のアクセス ポイントはお互いに 11 Mbps 以下の速度 (距離によって異なる) で直接通信できます。

54 Mbps で通信できる範囲は、11 Mbps で動作する既存の 802.11b のアクセス ポイントより小さくなります。より高いデータ転送速度を実現するには、802.11g のアクセス ポイント間の距離を近づけるとともに、必要に応じてアクセス ポイントを追加してください。

> **注意 :** HP PSC を 802.11g ネットワークに接続中で、最大スループットを希望する場合は、Ethernet (有線) 接続を使用してください。ワイヤレスで接続する場合は、スループットが低下します。

アドホック モード - 802.11 ネットワーク フレームワークの 1 つで、アクセス ポイント (つまり、ルータかゲートウェイ) を使用することなく機器やステーションが互いに直接通信します。アドホック モードは、ピア ツー ピア モードとも呼ばれます。このモードでは、それぞれのクライアントが集中箇所 (アクセス ポイントなど) を経由することなく、相手先と直接通信します。Macintosh ネットワークでは、アドホック モードはコンピュータ ツー コンピュータ モードと呼ばれます。

AiO HP All-in-One またはマルチファンクション ユニット。AiO ユニットは、1 台の機器内に収められたプリンタ、スキャナ、ファクス、コピー機、フォト機器で構成されます。

Apple Open Transport ネットワーク サービスの構成に使用される Macintosh ネットワーク プロトコルのセット。Apple Open Transport は、従来の AppleTalk プロトコルと TCP/IP プロトコルの両方をサポートしています。TCP/IP モードで Apple Open Transport が稼働している Macintosh は、Microsoft Windows サーバーの DHCP クライアントにすることができます。

認証 認証ではユーザーや機器の身元を確かめてからネットワークへのアクセスを認めるため、無許可のユーザーはネットワークのリソースへ侵入することが難しくなります。802.11 標準は、いくつかのクライアント認証方法をサポートしています。

- 認証方法を持たないネットワーク (オープン システム) では、ネットワーク ユーザーの個人情報でユーザーをスクリーニングすることはなく、通常は正しい SSID を入力するだけしかありません。
- 共有キーによる認証方法を使用するネットワークでは、ユーザーや機器が静的キー (16 進数か英数字による文字列) で自分の身元確認をしなければならないため、セキュリティが向上します。
- サーバー型 (EAP/802.1x) 認証は、セキュリティを大幅に強化します。この方法は、企業レベルのネットワークでよく使われます。認証専用のサーバーが、ユーザーや機器の身元を検証した後でネットワークへのアクセスを許可します。認証サーバー用に各種ワイヤレス認証プロトコルが利用できます (EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-TTLS、LEAP、PEAP など)。また、1 つのネットワークで複数のプロトコルが使用されることもあります。EAP-MD5 は WEP 暗号化を使用しますが、これ以外の EAP メカニズムはいずれも動的暗号化を使用します。

  注意 : サーバー型認証プロトコルは、HP PSC の埋め込み Web サーバーを介して導入しなければなりません。

AutoIP (APIPA) Automatic Private IP Addressing. APIPA によって、DHCP クライアントは、DHCP サーバーを利用できないときに IP アドレスとサブネット マスクを自分で設定することが可能になります。

DHCP クライアントはブートアップ時に、まず DHCP サーバーを調べて IP アドレスとサブネット マスクを入手しようとします。必要な情報が見つからない場合、クライアントは APIPA を使用して、Microsoft 専用に確保された一定の範囲のなかから自動で IP アドレスを自分に設定します。IP アドレスの範囲は、169.254.0.1 ~ 169.254.255.254 です。クライアントはまた、デフォルトのクラス B サブネット マスクである 255.255.0.0 を自分に設定します。クライアントは自分で設定したこの IP アドレスを、DHCP サーバーが利用可能になるまで使用します。

CIFS Common Internet File System。CIFS によって、AiO 機器のフォト メモリ カードはネットワーク上のディスク文字にアクセス可能になります。ユーザーは、AiO 機器のフォト メモリ カードから、ネットワーク上のファイルの読み取り / 書き込みを行うことができます。

DHCP サーバー Dynamic Host Configuration Protocol サーバー。これは、ネットワークやインターネット上で使用するための IP アドレスのプールを動的に管理するサーバーです。任意のユーザーがネットワークにログインすると、そのユーザーにはネットワークに接続している間だけ IP アドレスが割り当てられます。ユーザーがログオフすると、別の機器が使用できるよう、その IP アドレスはプールに返されます。

デジタル証明書 ネットワーク上のユーザーや機器の身元を証明する電子的な方法。証明書には、ユーザーの機器に関する詳細情報が標準的な形式で含まれます。証明書は、信頼のおけるサードパーティである証明機関 (CA) が発行するのが普通です。場合によっては、ローカルに管理された (つまり「自己署名された」) 証明書が有効なこともあります。

ダイレクト (ローカル) 接続 これは、ホスト コンピュータと AiO 機器の接続にネットワークを使用しない方法です。接続は、USB で行うのが普通です。

EAP Extensible Authentication Protocol。

EAP-MD5 Message Digest アルゴリズム 5 を使用する EAP。MD5 アルゴリズムで保護されたパスワードを使用してクライアントを認証する一方向の認証プロトコルです。

EAP-TLS Transport Level Security を使用する EAP。デジタル証明書を基本とする相互認証プロトコルの 1 つ。

EAP-TTLS Tunneled Transport Level Security を使用する EAP。サーバー認証でデジタル証明書、クライアント認証でパスワードを使用する相互認証プロトコルの 1 つ。セキュリティを強化するため、認証の交換は TLS (Transport Level Security) に埋め込まれます。

暗号化 暗号化を使用するとネットワーク上の送信データは符号化されるため、盗聴者はデータを理解できなくなります。暗号化には、基本的には次の 2 つの形式があります。

- **静的暗号化 (WEP など)**: ネットワーク上のすべての機器に対して同じキーが使用され、また同じキーが長期間にわたって使用されます。
- **動的暗号化 (WPA など)**: それぞれの機器が異なるキーを持ち、またすべてのキーが頻繁に変更されます。

注意： ネットワーク上のすべての機器は、同じ形式の暗号化を使用する必要があります。

EWS Embedded (埋め込み) Web サーバー。

ゲートウェイ 異なる 2 つのネットワークを接続するルータかコンピュータ。ネットワークがサブネットに分割されている場合、1 つのサブネットを別のサブネットから分離してネットワーク トラフィックを制御するためにゲートウェイがよく使われます。

インフラストラクチャ 802.11 ネットワーク フレームワークの 1 つで、機器はお互いと通信するために、最初にアクセス ポイント (AP) (つまり、ルータかゲートウェイ) を通過します。この形式のワイヤレス ネットワークでは、ワイヤレス クライアントは有線 Ethernet クライアントと通信するためにすべてのパケットを共通ルータを通して送信します。

内部ネットワークコンポーネント HP PSC 2500 Series で使用されるネットワーク製品。ホーム ユーザーに重点を置き、有線と無線の両方で Ethernet 接続を簡単に行えるようにします。

IP アドレス ネットワークかインターネットに接続されるコンピュータはいずれも、固有のアドレスを持っていなければなりません。インターネット サービス プロバイダ (ISP) によって提供されるインターネット接続では、インターネット プロトコル (IP) と呼ばれる標準プロトコルを使用します。このプロトコルはまた、内部ネットワークでも使用されます。IP アドレスは、x.x.x.x の形式をとります (例えば 169.254.100.2)。大半のネットワークは、DHCP か AutoIP を使用して動的に IP アドレスを割り当てます。

LAN ローカル エリア ネットワーク。プリンタやデータなどのリソースを共有するため、ネットワーク ケーブル、電話回線、および無線で接続される一群のコンピュータ。

LEAP Lightweight Extensible Authentication Protocol。Cisco Systems の専有プロトコルで、相互認証用にパスワードを使用します (つまり、クライアントとサーバがお互いを認証する)。

mDNS Multicast Domain Name Server。Rendezvous は、中央の DNS サーバーを使用しないようなローカル ネットワークおよびアドホック ネットワークで使用されます。ネーム サービスを行うため、Rendezvous は DNS の代わりに mDNS を使用します。mDNS があれば、LAN に接続されているすべてのプリンタをご使用のコンピュータから認識できます。また、Ethernet 対応機器であれば、ネットワーク上のどの機器でも操作できます。

NDIS5 PC に搭載されたワイヤレス LAN カードの自動検出とスイッチング機能を提供するネットワーク ドライバ API。Windows XP では、最も高い信頼性を発揮します。Macintosh OS X にも同様の API があり、Macintosh の AiO ソフトウェア ソリューションで使用されます。

ノード ネットワークの接続ポイントで、通常はコンピュータ。

PEAP Protected Extensible Authentication Protocol。サーバー認証でデジタル証明書、クライアント認証でパスワードを使用する相互認証プロトコルの 1 つ。セキュリティを強化するため、認証の交換は TLS (Transport Level Security) に埋め込まれます。

プロトコル プロトコルは、データ通信を操作するためにあらかじめ定義された規則や規約のセットです。コンピュータにとって、プロトコルは人間の言語に相当します。したがって、ネットワーク上の 2 つの機器が通信するためには、両方が同じプロトコルを理解している必要があります。

プロキシ サーバー プロキシ サーバーは、ネットワークを通るトラフィックを限定するセキュリティ ゲート (Web プロキシなど) の働きをします。プロキシはネットワークへの要求を傍受して、自分は要求を満たすことができるかどうかを調べます。満たさない場合、プロキシは要求を別のサーバーに転送します。プロキシ サーバーの主な目的は、性能を向上させることと、要求を選別することです。

> **注意 :** プロキシ サーバーの IP アドレスは ISP から入手してください。HP Instant Share を登録するときは、プロキシ サーバーの IP アドレスが必要です。ISP がプロキシ サーバーを使用していない場合は、該当するフィールドは空白のままにしておきます。

サーバー ネットワーク リソースを管理するネットワーク上のコンピュータ。1 つのネットワークには、数種類のサーバーが使用されていることがあります。例えば、プリント サーバーは 1 台もしくは複数台のプリンタを管理し、ファイル サーバーはファイルの保存と管理を行います。ネットワーク サーバーは、ネットワークのトラフィックを管理します。

SSID Service Set Identifier。ワイヤレス LAN 上で送信されるパケットのヘッダに付けられる固有の識別子 (最大 32 文字)。SSID によって、ワイヤレス ネットワークへの基本的なアクセス制御が可能になります。また、ユーザーや機器のワイヤレス サブグループを論理的に分割する場合にも使用できます。SSID によって、SSID を持たないクライアント機器はアクセスできなくなります。デフォルトでは、アクセス ポイントがその SSID をビーコンで一斉通報します。

SSID は、ワイヤレス ネットワークを識別する名前であるため、ネットワーク名と呼ばれることもあります。

TCP/IP Transmission Control Protocol/Internet Protocol。データがネットワーク機器に渡される方法を定義する通信プロトコルです。事実上、現代のすべてのオペレーティング システムは TCP/IP をサポートしています。また、大半の大規模ネットワークはそのネットワーク トラフィックすべてにおいて TCP/IP に依存しています。

USB Universal Serial Bus。12 Mbps のデータ転送速度をサポートする外部バス標準。1 つの USB ポートには、最大 127 の周辺機器 (マウス、モデム、キーボードなど) を接続することができます。USB はまた、プラグ アンド プレイによる接続とホット プラグ機能をサポートしています。

WEP 暗号化 Wired Equivalent Privacy (WEP) は、IEEE 802.11 静的暗号化スキームの 1 つで、ワイヤレス ネットワーク上で基本的なアクセス制御とデータのプライバシー性保護が可能になります。WEP キー (つまりネットワーク キー) は、ワイヤレス データ通信の暗号化と復号化に使用される一種の共有パスワードです。これにより、同じキーを持つコンピュータだけがデータを読み取ることができます。WEP キーはネットワークに接続された各コンピュータに保存されるため、データはワイヤレス ネットワーク上で無線転送するときに暗号化と復号化を行うことができます。次のタイプの WEP 暗号化をネットワーク上で使用できます。

- **64-bit**:5 文字の英数字または 10 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。
- **128-bit**:13 文字の英数字または 26 桁の 16 進数の WEP キーが使用されています。

Wi-Fi Wireless Fidelity (ワイヤレス フィデリティ)。802.11 ネットワークの任意のタイプ (802.11b、802.11a、デュアル バンドなど) を指す場合に一般的に使用される用語。「Wi-Fi Certified」としてテストおよび承認を受けた製品であれば、製造メーカーが異なっている場合でも相互運用可能であることが認定されています。ただし一般には、同じ無線周波数 (802.11b か 11g では 2.4 GHz、802.11a では 5 GHz) を使用する Wi-Fi 製品であれば他の Wi-Fi 製品と、たとえ「Wi-Fi Certified」でなくても一緒に使用することができます。

ワイヤレス ネットワーク アダプタ WLAN 上の各ノード (コンピュータや機器) は、小さなアンテナ付きのワイヤレス トランシーバが組み込まれたワイヤレス ネットワーク アダプタを使用します。ワイヤレス ネットワーク アダプタには、内蔵 (コンピュータや機器に挿入される)、外付け (別ケースに収納)、組み込み (HP PSC のアダプタなど) の各タイプがあります。

一般的なアダプタには、次のものがあります。

- **USB アダプタ** : コンピュータの USB ポートに接続する外部機器 (一端に PCMCIA カードが取り付けられているものが一般的)。
- **ノートブック アダプタ** : ノートパソコンや他の携帯パソコンの PCMCIA スロットの 1 つに直接挿入される PCMCIA カード。
- **デスクトップ コンピュータ アダプタ** : デスクトップ コンピュータに接続する専用の ISA か PCI カード、または特殊なアダプタを持つ PCMCIA カード。
- **AirPort アダプタ** :Macintosh ノートパソコンやデスクトップ コンピュータの AirPort スロットに直接挿入するワイヤレス カード。AirPort アダプタを使用すると、コンピュータへのケーブル接続が不要になります。

WPA (TKIP) Wi-Fi Protected Access。標準ベースの相互運用可能なセキュリティを提供し、ワイヤレス LAN のデータ保護とアクセス制御のレベルを大きく向上させます。データ暗号化を向上させるため、WPA では TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) を使用します。また、ユーザー認証を強化するため、WPA は 802.1x と EAP (Extensible Authentication Protocol) を採用しています。

WPA は、企業と一般家庭 /SOHO の 2 つの基本ソリューションをサポートしています。IT リソースを用いた企業環境では、Wi-Fi Protected Access と同時に RADIUS などの認証サーバーを使用して、集中アクセス制御と管理を行います。一般家庭 /SOHO 環境では、手入力のキーやパスワードを使う事前共有キー (PSK) という特別な家庭モードで WPA を実行してセキュリティを確保します。PSK は一般家庭や個人事業所が簡単に設定できるように作られています。

> **注意：** WPA/802.1x と WPA/PSK パラメータは EWS からのみ入力できます。

WPA/PSK Wi-Fi Protected Access/Pre-Shared Key。WPA/PSK 認証では、共有のマスタ秘密キーを使用してクライアント認証が行われます。上記の *WPA (TKIP)* を参照してください。

> **注意：** ネットワーク上のすべての機器は、同じ事前共有キーを使用しなければなりません。事前共有キーは、HP PSC の埋め込み Web サーバーを介して導入する必要があります。

索引

■お客様サポート窓口

本製品についてのご質問は、下記の hp 窓口へお問い合わせください。

■日本 hp インクジェットプリンタ ホームページ

http://www.hp.com/jp/inkjet/

ホームページ内の［サポート情報／ドライバ］をクリックしてください。よくあるお問い合せの解決方法や、最新のプリンタドライバの情報を入手できます。

■電話サポート（カスタマ・ケア・センタ）

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）
FAX：03-3335-8338

●電話受付時間：平日 9:00～17:00
土曜日／日曜日 10:00～17:00
（祝祭日、年始を除く）

●FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

■修理に関するお問い合せ（hp クイックエクスチェンジサービス）

本製品に不具合が生じた場合、まずは下記電話窓口までご連絡ください。故障と診断された場合、「hp クイックエクスチェンジサービス」によって、良品のお届けと同時に故障した製品のお取り引きに伺います。

TEL：0570-000511（ナビダイヤル）
03-3335-9800（ナビダイヤルがご利用になれない場合にご使用ください）

●電話受付時間：平日 9:00～17:00
土曜日／日曜日 10:00～17:00
（祝祭日、年始を除く）

■E メールサポート

http://japan.support.hp.com/

ホームページ内の［e-mail サポート］をクリックしてください。

オンラインカスタマ登録のお願い

hpでは大切なお客様へ必要な情報をお知らせするため、また適切なサービス・サポートを提供していくためにカスタマ登録をお願いしております。

カスタマ登録はオンライン（http://www.hp.com/jp/inkjet/）で簡単に行うことができます。

hpカスタマ登録の主なメリット

- プリンタドライバや関連情報のお知らせ
- スムーズなアフターサポート対応
- ニュースレター配信サービス（製品の使い方、サポート情報やキャンペーン情報等を予定）

＊ hpカスタマ登録に関する情報・サービスは、ホームページに最新情報を掲載しております。

http://www.hp.com/jp/inkjet/

日本ヒューレット・パッカード株式会社
本社 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24
http://www.hp.com/jp

リサイクル紙に印刷しています。

シンガポールまたはマレーシアで印刷

Q3093-90181